

ネットワークガイド

本書はネットワークプリンターとして使うために必要なネットワーク設定手順やスマートフォンなどの機器との接続方法を説明しています。

また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。

目的に応じて必要な項目を参照してください。

本書は、共通のマニュアルとなっているため、お使いの製品の仕様によっては、記載の一部が該当しないことがありますのでご了承ください。

セキュリティやシステム管理者が設定する項目は、『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

マークの意味

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障やソフトウェアの動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り OS X Lion の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版
本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows 8^{*1}、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2012^{*2}、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008、Windows Server 2003^{*3} と表記しています。また、これらの総称名として「Windows」を使用しています。

*1：Windows 8.1 含む

*2：Windows Server 2012 R2 含む

*3：Windows Server 2003 R2 含む

Mac OS X の表記

本書では OS X Mavericks を「Mac OS X v10.9.x」、OS X Mountain Lion を「Mac OS X v10.8.x」、OS X Lion を「Mac OS v10.7.x」と表記しています。また、「Mac OS X v10.9.x」「Mac OS X v10.8.x」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.8」の総称として「Mac OS X」を使用しています。

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、「EXCEED YOUR VISION」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac OS、OS X、Bonjour、iPhone は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。AirPrint は、Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

AOSS（TM）は株式会社バッファローの商標です。

Android は Google Inc. の商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

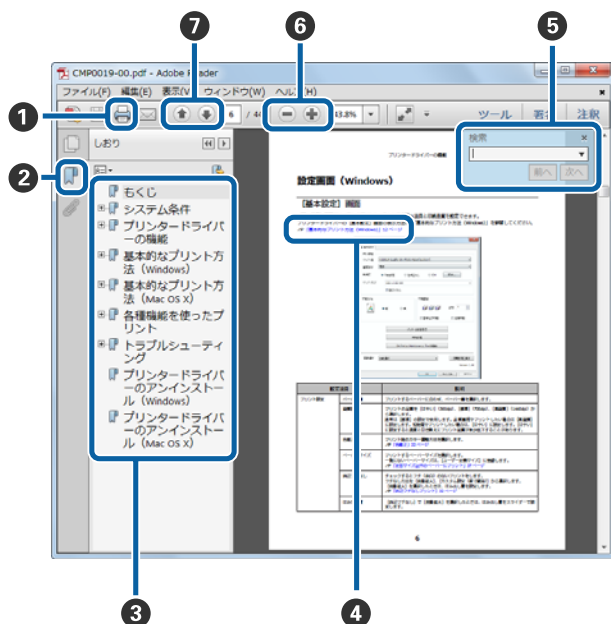
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

PDF マニュアルの見方

Adobe ReaderでPDFマニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Reader XI で表示したときを例に説明します。



- 6 表示中の文字が小さくて見えにくいときは をクリックすると拡大します。 をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで「マーカーズーム」を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

Mac OS X の場合

[表示] メニュー - [ズーム] - [マーカーズーム] の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- 7 前ページ / 次ページを表示します。

1	PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
2	クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
3	タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。 [+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。
4	参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。 元のページに戻るときは、以下のように行います。 Windows の場合 【Alt】キーを押したまま【←】キーを押します。 Mac OS X の場合 【command】キーを押したまま【←】キーを押します。
5	確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。 Windows の場合 PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。 Mac OS X の場合 [編集] メニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

もくじ

もくじ	4	Info-ZIP copyright and license ...	56
設定の前に	5		
接続方法の確認と導入手順 ...	5		
動作環境 ...	7		
印刷方法の概要と特徴 ...	8		
本機のネットワーク設定	9		
設定方法の紹介 ...	9		
ソフトウェアディスクで設定 ...	9		
操作パネルで設定 ...	9		
設定ソフトウェアで設定 ...	13		
印刷をするコンピューターの設定	14		
Windows の場合 ...	14		
Mac OS X の場合 ...	20		
Wi-Fi Direct での接続設定	21		
本機の設定（シンプル AP モード） ...	21		
本機の設定（Wi-Fi Direct モード） ...	22		
機器からの接続 ...	25		
切断方法 ...	28		
各モードの確認方法 ...	28		
アドホックモードでの接続設定	29		
コンピューターのアドホックネットワーク設定 ...	29		
本機とコンピューターの設定 ...	32		
ネットワーク接続の確認	33		
ネットワーク情報の確認 ...	33		
ネットワーク接続診断 ...	34		
2 台目以降のコンピューターを追加接続	35		
Windows の場合 ...	35		
Mac OS X の場合 ...	35		
設定 / 印刷で困ったときは	36		
ネットワーク接続診断のエラー ...	36		
設定や印刷に関するトラブル ...	40		
Mac OS X に関するトラブル ...	41		
AirPrint に関するトラブル ...	42		
Wi-Fi Direct（シンプル AP モード）でのトラブル ...	42		
ソフトウェアのご案内	45		
印刷用ソフトウェア - EpsonNet Print ...	45		
設定ソフトウェア ...	45		
Android/iOS 向けアプリ ...	48		
付属のソフトウェア使用時のトラブル ...	48		
付録	50		
ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識 ...	50		
IP アドレス（IPv4 アドレス）の設定 ...	51		
PING コマンドによる通信確認 ...	53		
無線 LAN を無効にする ...	55		
ネットワーク設定を初期化する ...	55		
オープンソースソフトウェアのライセンス契約 ...	56		

設定の前に

ネットワークインターフェイスの機能や動作環境と、導入作業の概要などを説明します。

接続方法の確認と導入手順

ネットワーク環境で本機を使うには 4 つの接続方法があります。以下の説明を参考に、どの接続方法を使用するか決定してから導入手順を確認してください。



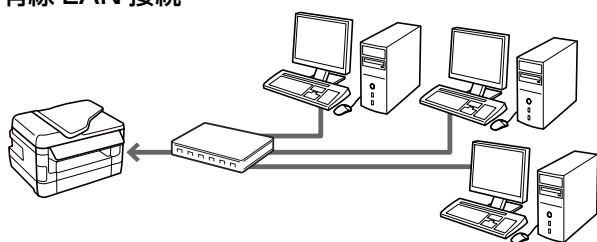
参考 ネットワークの接続設定を付属のソフトウェアディスクを使って自動で行いたいときは、『セットアップガイド』（紙マニュアル）をご覧ください。セットアップを行ってください。

有線 LAN、無線 LAN(インフラストラクチャーモード)接続



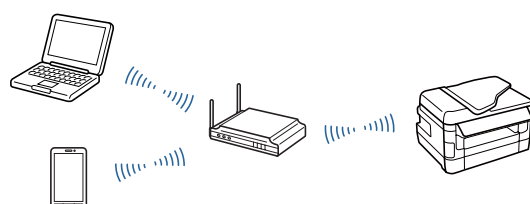
重要 無線 LAN（インフラストラクチャーモード）と有線 LAN の同時利用はできません。

有線 LAN 接続



長所：混信の影響を受けない
短所：LAN ケーブルの配線が必要

無線 LAN(インフラストラクチャーモード)



長所：アクセスポイントの電波が届く範囲では、設置が自由
短所：電波状況の影響を受ける可能性がある

動作環境の確認

[7 ページ](#)

コンピューターのネットワーク設定

※各 OS の説明書を確認してください。

本機のネットワーク設定

[9 ページ](#)

印刷をする コンピューターの設定

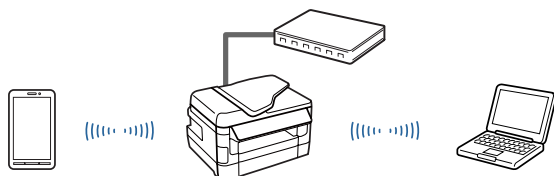
[14 ページ](#)

機器からの接続 (スマートフォン などの場合)

[26 ページ](#)

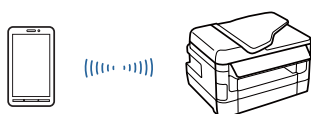
無線 LAN(Wi-Fi Direct)接続

シンプル AP モード



長所：有線 LAN 接続との同時利用が可能
短所：シンプル AP モードで接続できる機器は 4 台まで

Wi-Fi Direct モード



長所：一時的に接続を切り替えて利用が可能
短所：接続の度、接続設定が必要

接続機器のネットワーク設定



※機器のマニュアルを確認してください。

アプリのインストール (Android/iOS 機器)

[📖 48 ページ](#)

本機の Wi-Fi Direct 接続設定



[📖 シンプル AP モード 21 ページ](#)

[📖 Wi-Fi Direct モード 22 ページ](#)

機器からの接続

[📖 25 ページ](#)

無線 LAN(アドホック)接続



長所：ネットワーク機器が不要
短所：対応するセキュリティーモードは WEP のみ

コンピューターのアドホックネットワーク設定



[📖 29 ページ](#)

本機とコンピューターの設定

[📖 32 ページ](#)

動作環境

本機のネットワークの動作環境と対応する印刷方法は以下の通りです。

OS	対応プロトコルおよび印刷方法	IPv4	IPv6
Windows XP Windows Server 2003 R2* Windows Server 2003*	TCP/IP (標準 TCP/IP 印刷)	○	×
	EpsonNet Print	○	×
Windows Vista Windows 7 Windows 8 Windows 8.1 Windows Server 2008* Windows Server 2008 R2* Windows Server 2012* Windows Server 2012 R2*	TCP/IP (標準 TCP/IP 印刷)	○	○
	EpsonNet Print	○	×
	WSD 印刷	○	○
Mac OS X v10.6.8 ~ v10.9.x	Bonjour	○	○
	IPP (AirPrint)	○	○

* : お使いの製品によっては対応していません。対応しているかは、製品のマニュアルをご覧ください。

最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

<<http://www.epson.jp/support/taiou/os/>>

印刷方法の概要と特徴

EpsonNet Print 印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- プリンターの IP アドレスが、サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、IPv4 アドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）を使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/Epson 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷方法を 3 種類から選択できます。
- Windows のスプーラー画面の上部に、プリンターのステータスを表示します。
- IPv6 アドレスには対応していません。

標準 TCP/IP 印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- Windows に標準搭載されている印刷方法です。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）を使用できます。
- イベントビューアーを使用して印刷ログ（記録）が取れます。
- IP アドレスの設定が必要です。

WSD 印刷

- Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 に標準搭載されている印刷方法です。WSD とは Web Services on Devices の略で、ネットワーク上のコンピューターやプリンターなどを自動的に探索するための仕組みです。
- WSD でプリンターを使用するとき、Windows の [Windows FAX とスキャン] からスキャン機能も使用できます。
- プリンターの IP アドレスを変更しても、自動で追従します。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）で印刷できます。

Bonjour 印刷

- プリンターの IP アドレスが、サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。

接続方法と印刷方法が決定したら、コンピューター側のネットワークが設定済みであることを確認してから、本機のネットワーク設定に進んでください。

 [9 ページ「本機のネットワーク設定」](#)

本機のネットワーク設定

コンピュータのネットワーク設定が終了していることを確認してから、本機のネットワーク設定をします。本機の準備が終了し、印刷できる状態になっているか確認してください。本機の準備が終わっていないときは『セットアップガイド』（紙マニュアル）をご覧ください、本機の準備をしてください。

設定方法の紹介

本機のネットワーク設定をするには、以下の方法があります。

- 付属のソフトウェアディスクで設定する
- 操作パネルで設定する
- 付属のソフトウェアを使って設定する

各設定方法の詳細を確認して、設定方法を決定してください。

参考

- ネットワーク設定中は、同時にその他の設定変更ができないように、また動作中の本機に影響が出ないように本機の操作パネルがロックされます。
- 本機の動作中はネットワーク設定ができません。

ソフトウェアディスクで設定

付属のソフトウェアディスクを使って、ソフトウェアのインストールとネットワークの設定を自動で行います。設定するコンピュータに付属のソフトウェアディスクをセットして、「InstallNavi.exe」を実行してください。画面の指示に従ってセットアップをしてください。

参考

コンピュータにディスクドライブがない、または Mac OS X の場合は以下をご覧ください。
<<http://epson.sn>>

操作パネルで設定

本機の操作パネルからネットワーク項目を設定します。

ネットワーク詳細設定

ネットワーク詳細設定のパネル操作手順を説明します。

- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 ネットワーク概要表示画面で [メニュー] を押します。
- 3 [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] を選択します。
- 4 ネットワーク詳細設定画面で設定する項目を選択し、設定をします。
設定項目の詳細は、以下をご覧ください。

ネットワーク詳細設定の項目説明

ネットワーク詳細設定画面では以下の項目が設定できます。機種によって設定できる項目が異なります。

項目名	内容
プリンター名	プリンター名「EPSONXXXXXX」(XはMACアドレスの下6桁)が表示されます。選択するとネットワークで表示するプリンター名を変更できます。文字の入力方法はプリンターのマニュアルをご覧ください。 プリンター名として入力できる文字は以下の通りです。 - 文字数：2～15 (1文字は不可) - 使用可能文字：A～Z、a～z、- (半角スペースは不可) - 先頭に使用できる文字：A～Z、a～z (0～9、- は不可) - 最後に使用できる文字：A～Z、a～z、0～9 (- は不可)
TCP/IP アドレス	DHCP サーバーによる IP アドレス自動取得機能を有効にしているときは「自動」を選択してください。固有の IP アドレスを設定するときは「手動」を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。 自動 / 手動
DNS サーバー	DNS サーバーを設定します。TCP/IP アドレスを「手動」にしたときは、DNS サーバーも「手動」に変更されます。 自動 / 手動
プロキシサーバー	プロキシサーバーを使用するかどうかをします。使用するときは、プロキシサーバー名とポート番号を設定します。 使用する / 使用しない
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Direct による接続を許可するかどうかを設定します。 有効 / 無効

以上で終了です。

無線 LAN 設定 - 手動設定 -

本機の操作パネルの案内に従って、無線 LAN を設定する手順を説明します。

- ！重要** 手動でのネットワーク設定には以下の情報が必要です。確認してから作業を開始してください。わからないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- SSID (ネットワーク名)
 - セキュリティキー (パスワード)

- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 ネットワーク概要表示画面で **【無線 LAN 設定】** を押します。
- 3 無線 LAN 設定画面で **【手動設定】** を選択します。
- 4 接続したいネットワーク (SSID) を選択します。

接続したい SSID が表示されないときは、アクセスポイントの設定を確認してください。

SSID は無線通信時の混信を避けるために付けられた識別子 (ネットワーク名) で、最大 32 文字の英数字で表示されます。無線 LAN のアクセスポイントと各端末 (アクセスポイントの子機や無線 LAN 対応プリンターなど) に同じ SSID を設定し、SSID が一致する端末としか通信しないようにすることで混信を防ぐことができます。SSID がわからないときは、アクセスポイント (ブロードバンドルーターなど) のマニュアルをご覧ください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 参考** アクセスポイントのステルス機能 (不正アクセス防止のために SSID を周囲に通知することを停止する機能) が有効になっているなど、本機で SSID を検出できない場合は、[その他の SSID] を選択して、SSID を入力してください。

- 5** セキュリティーキーを入力し、**〔次へ〕** を押します。
 セキュリティーキーを押すと、入力画面が表示されます。
 セキュリティーキーは大文字と小文字を区別して入力してください。文字の入力方法は、本機のマニュアルをご覧ください。
 セキュリティーキーがわからないときは、アクセスポイント（ブロードバンドルーターなど）のマニュアルをご覧ください。
 ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 6** 設定確認画面で設定内容を確認し、よければ**〔設定開始〕** を押します。

- 7** ネットワーク診断レポートを印刷する場合は、A4 サイズの普通紙をセットして、本機の**〔印刷〕** を押します。
 設定を終了する場合は、**〔終了〕** を押します。

診断レポートの見方とエラーメッセージの対処方法は、以下のページをご覧ください。

 [36 ページ「ネットワーク接続診断のエラー」](#)

ネットワーク接続に成功すると、ホーム画面のアイコンが  に変わります。

以上で終了です。

操作パネルでの設定が終了したら、次に印刷するコンピューターを設定してください。

 [14 ページ「印刷をするコンピューターの設定」](#)

無線 LAN を無効、またはネットワーク設定を初期化したいときは、以下をご覧ください。

 [55 ページ「無線 LAN を無効にする」](#)

 [55 ページ「ネットワーク設定を初期化する」](#)

無線 LAN 設定 - プッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS) -

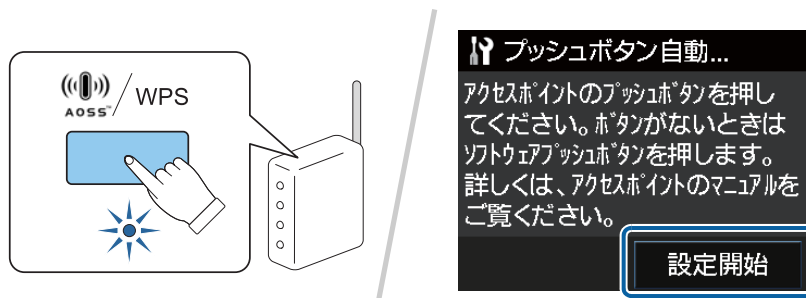
この方法で設定できるアクセスポイントの条件は以下です。

- AOSS に対応しているバッファロー製のアクセスポイントで、既に他の無線機器（子機）を**【AOSS】** ボタンを使って設定している
- WPS (Wi-Fi Protected Setup (TM)) に対応しているアクセスポイントで、既に他の無線機器（子機）を**【WPS】** ボタンを使って設定している

【AOSS】 ボタンや**【WPS】** ボタンの位置がわからない、アクセスポイントにプッシュボタンがない（ソフトウェアプッシュボタンで操作する）ときは、アクセスポイントのマニュアルで確認してから設定を始めてください。

- 1** ホーム画面で  を押します。
- 2** ネットワーク概要表示画面で**〔無線 LAN 設定〕** を押します。
- 3** 無線 LAN 設定画面で**〔プッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS)〕** を選択します。

- 4** 以下の画面が表示されたら、アクセスポイントの【AOSS】ボタンまたは【WPS】ボタンを、セキュリティランプが点滅するまで押します。次に操作パネルの【設定開始】を押します。
【AOSS】ボタンや【WPS】ボタンがない（ソフトウェアプッシュボタンを使用）、またはボタンの位置がわからないときは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



- 5** 設定が終了するまで、しばらくお待ちください。

参考 接続できないときは、本機とアクセスポイントを近づけてから設定をやり直してください。それでも接続できないときは、最初からやり直してください。

設定が終了したら、[確認] を押します。

ネットワーク接続に成功すると、ホーム画面のアイコンが  に変わります。

以上で終了です。

操作パネルでの設定が終了したら、次に、印刷するコンピューターを設定してください。

[🔗 14 ページ「印刷するコンピューターの設定」](#)

無線 LAN を無効、またはネットワーク設定を初期化したいときは、以下をご覧ください。

[🔗 55 ページ「無線 LAN を無効にする」](#)

[🔗 55 ページ「ネットワーク設定を初期化する」](#)

無線 LAN 設定 - PIN コード自動設定 -

WPS 機能の 1 つである PIN コード方式を使用して、無線 LAN を設定する手順を説明します。

WPS とは、無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が定めた無線 LAN 設定方式で、プッシュボタン方式と PIN コード方式があります。PIN コード方式は、本機に割り振られていた 8 桁の数字をアクセスポイントまたはコンピューターに登録することで無線 LAN 設定ができます。

- 1** ホーム画面で  を押します。
- 2** ネットワーク概要表示画面で【無線 LAN 設定】を押します。
- 3** 無線 LAN 設定画面で【PIN コード自動設定 (WPS)】を選択します。
- 4** PIN コード自動設定画面に表示された PIN コードをアクセスポイントかコンピューターに入力します。
[設定開始] を押してから 2 分以内に登録してください。

5 設定が終了するまで、しばらくお待ちください。



接続できないときは、本機とアクセスポイントを近づけてから設定をやり直してください。それでも接続できないときは、最初からやり直してください。

設定が終了したら、[確認] を押します。

ネットワーク接続に成功すると、ホーム画面のアイコンが  に変わります。

以上で終了です。

操作パネルでの設定が終了したら、次に、印刷するコンピューターを設定してください。

[14 ページ「印刷をするコンピューターの設定」](#)

無線 LAN を無効、またはネットワーク設定を初期化したいときは、以下をご覧ください。

[55 ページ「無線 LAN を無効にする」](#)

[55 ページ「ネットワーク設定を初期化する」](#)

設定ソフトウェアで設定

ソフトウェアディスクには、以下の設定ソフトウェアが収録されています。

- EpsonNet Setup (インストーラー (InstallNavi.exe) の中に含まれます)
- EpsonNet Config

EpsonNet Setup

ウィザード形式で、ネットワーク設定ができるソフトウェアです。

Mac OS X では、<<http://epson.sn>> の手順に従って、EpsonNet Setup をダウンロードしてください。Windows では付属のソフトウェアディスクを使ってインストーラーでネットワーク設定ができます。

次のネットワーク設定ができます。

- 無線 LAN 設定
無線 LAN を設定します。インストーラーが接続するコンピューターの環境に応じた設定方法を表示します。画面の案内に従って操作を進めてください。以下の設定方法は、自分で選択できます。
 - プッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS)
お使いのネットワークがアクセスポイントの【AOSS】または【WPS】ボタンを使って設定されているときは、この方法を選択してください。
 - 手動設定
SSID (無線ネットワーク名)、セキュリティキーをご自分で本機に入力してネットワーク設定をします。設定する前にネットワーク情報を確認してください。コンピューターから接続している無線 LAN 設定を取得できると、SSID、セキュリティキーをコンピューターの画面上に表示できます。
- 有線 LAN 接続
有線 LAN を設定します。

EpsonNet Config

本機に搭載のネットワークインターフェイスや使用するサーバーなどを設定するソフトウェアです。Windows 版と Mac OS X 版があります。

[45 ページ「EpsonNet Config \(ソフトウェアディスク収録\)」](#)



Web Config について

EpsonNet Config (ネットワーク設定ソフトウェア) と同じような設定が Web ブラウザーからできます。

[47 ページ「Web Config」](#)

印刷をするコンピュータの設定

ネットワーク接続で印刷するには、プリンタードライバーのインストールとプリンターポートの設定が必要です。ここでは印刷プロトコル別にその手順を説明します。

Windows の場合

「印刷環境の確認」で選択した印刷方法に応じたセットアップをします。

EpsonNet Print (LPR) 印刷	🔗 14 ページ「EpsonNet Print (LPR) で印刷」
標準 TCP/IP 印刷	🔗 17 ページ「標準 TCP/IP (LPR) で印刷」
WSD 印刷	🔗 各 OS の説明書を参照してください。

EpsonNet Print(LPR)で印刷

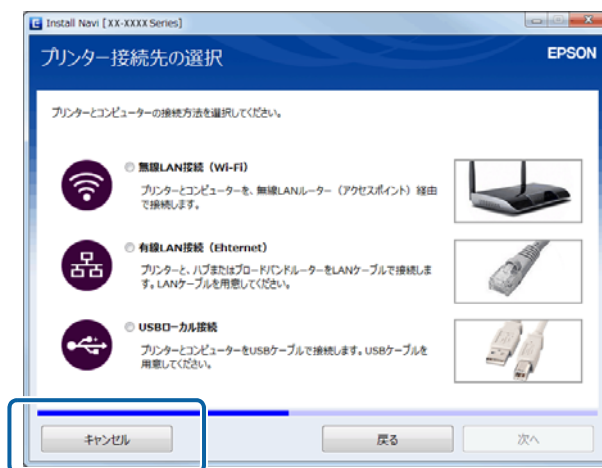
EpsonNet Print ソフトウェアを使用して、本機に印刷データを直接送るための設定手順を説明します。

なお、付属のソフトウェアディスクからインストーラーを使って自動でネットワーク設定した場合は、「EpsonNet Print のインストール」と「プリンターポートの作成」が全て自動設定されます。

EpsonNet Print のインストール

管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

- 1 付属のソフトウェアディスクをコンピュータにセットします。
インストールメニューでは「必須ソフトウェアのインストールと接続設定」を選択し、画面の指示に従って操作します。
- 2 【プリンター接続先の選択】画面が表示されたら【キャンセル】をクリックします。



ここまででドライバーと EpsonNet Print がインストールされているので、インストーラーを終了させます。

以上で終了です。

次に、コンピュータのセットアップをします。

プリンターポートの作成

セットアップを始める前に、コンピュータに IP アドレスが設定されていることを確認してください。

また、本機に購入時（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることも確認してください。本機の IP アドレスは操作パネルで確認できます。

[33 ページ「ネットワーク情報の確認」](#)

1 【スタート】メニューから【デバイスとプリンター】を開きます。

Windows 8/Windows Server 2012:

デスクトップ画面の設定チャームから【コントロールパネル】 - 【デバイスとプリンターの表示】の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:

【スタート】 - 【コントロールパネル】 - 【プリンタ】の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003:

【スタート】 - 【プリンタとFAX】の順にクリック

2 【プリンターの追加】をクリックします。

Windows 8/Windows Server 2012:

デスクトップ画面の設定チャームから【コントロールパネル】 - 【デバイスとプリンターの表示】の順にクリック

Windows Server 2008 R2:

【プリンターの追加】 - 【管理者としてローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する】の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:

【プリンタのインストール】をクリック

Windows XP:

【プリンタのインストール】 - 【次へ】の順にクリック

Windows Server 2003:

【プリンタの追加】をダブルクリックして、【次へ】をクリック

3 【ローカルプリンターを追加します】をクリックします。

Windows 8/Windows Server 2012:

【探しているプリンターはこの一覧にはありません】をクリック

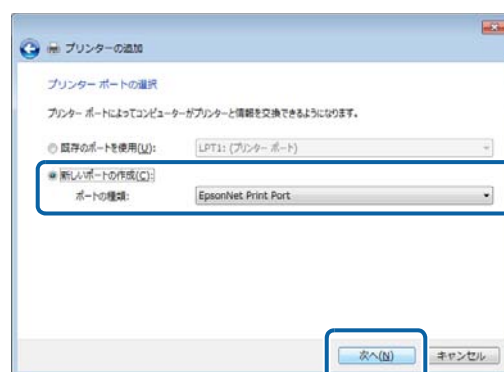
【ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動で追加する】を選択して【次へ】をクリック

Windows XP/Windows Server 2003:

【このコンピュータに接続されているローカルプリンタ】を選択します。【プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする】のチェックを外して、【次へ】をクリック

4 【新しいポートの作成】を選択します。【EpsonNet Print Port】を選択して、【次へ】をクリックします。

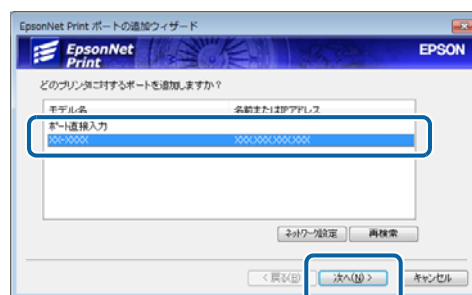
ご使用の Windows によって【Windows セキュリティの重要な警告】画面が表示されます。【ブロックを解除する】をクリックしてください。



5

ご使用のプリンターを選択して、[次へ] をクリックします。

ご使用のプリンターが表示されないときは、電源が入っているか確認して [再検索] をクリックするか、[ポート直接入力] をクリックして IP アドレスを指定してください。



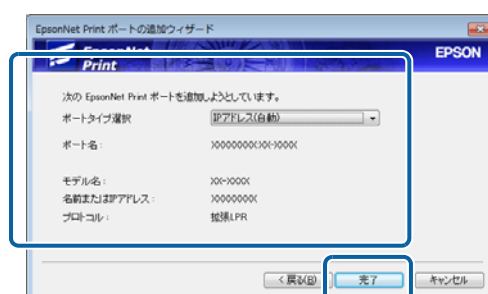
参考

- 別セグメントのプリンターを指定するときは、[ネットワーク設定] をクリックして設定してください。
- [ネットワーク設定] をクリックして設定を変更したときやポートの追加中に本機の電源を入れたときは、[再検索] をクリックしてください。
- 手順 4 で表示された [Windows セキュリティの重要な警告] 画面で [ブロックする] を選択したときは、コンピュータと同じセグメントにあるネットワークアドレスのプリンターのみ表示されます。異なるネットワークアドレスのプリンターを表示するときは、[コントロールパネル] の [Windows ファイアウォール] で設定を変更してください。

6

画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。

[ポートタイプ選択] でポートタイプを選択できます。通常、変更する必要はありません。各項目の説明は、下表をご覧ください。



項目名	内容	
ポートタイプ選択	作成するポートのタイプを選択できます。	
	IP アドレス (自動)	使用するコンピュータと本機が同一セグメント内にあり、本機の [TCP/IP アドレス] が [自動] になっているときに選択します。 本機の IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス (固定)	本機の [TCP/IP アドレス] が [手動] になっているときに選択します。DHCP サーバーなどによって各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。
ポート名	[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって、以下のように表示されます。 • [IP アドレス (自動)] : EP+MAC アドレス下 6 桁 : プリンター名 • [IP アドレス (固定)] : IP アドレス : プリンター名	
モデル名	プリンター名が表示されます。	
名前または IP アドレス	[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって、以下のように表示されます。 • [IP アドレス (自動)] : EP+MAC アドレス下 6 桁 • [IP アドレス (固定)] : IP アドレス	
プロトコル	使用プロトコル (拡張 LPR) が表示されます。	

7

[製造元] と [プリンター] を選択し、[次へ] をクリックします。

この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

以上で終了です。

ネットワーク接続の状態を確認したいときは、「ネットワーク接続の確認」をご覧ください。

 [33 ページ「ネットワーク接続の確認」](#)

設定したコンピューター以外からも接続したいときは、「2 台目以降のコンピューターを追加接続」をご覧ください。

 [35 ページ「2 台目以降のコンピューターを追加接続」](#)

標準 TCP/IP(LPR)で印刷

標準 TCP/IP 印刷 (Standard TCP/IP) の設定手順を説明します。

1 【スタート】メニューから【デバイスとプリンター】を開きます。

Windows 8/Windows Server 2012:

デスクトップ画面の【設定】チャームから【コントロールパネル】 - 【デバイスとプリンターの表示】の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:

【スタート】 - 【コントロールパネル】 - 【プリンタ】の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003:

【スタート】 - 【プリンタとFAX】の順にクリック

2 【プリンターの追加】をクリックします。

Windows Server 2008 R2:

【プリンターの追加】 - 【管理者としてローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する】の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:

【プリンタのインストール】をクリック

Windows XP:

【プリンタのインストール】 - 【次へ】の順にクリック

Windows Server 2003:

【プリンタの追加】をダブルクリックして、【次へ】をクリック

3 【ローカルプリンターを追加します】をクリックします。

Windows 8/Windows Server 2012:

【探しているプリンターはこの一覧にはありません】をクリック

【ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動で追加する】を選択して【次へ】をクリック

Windows XP/Windows Server 2003:

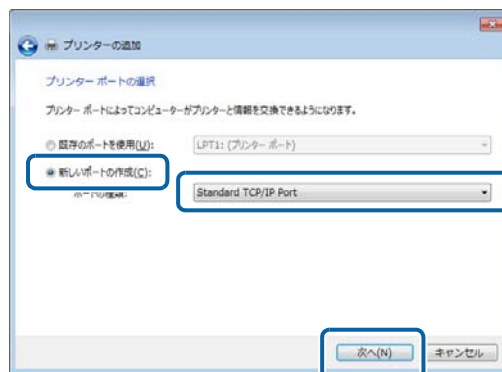
【このコンピューターに接続されているローカルプリンタ】を選択します。【プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする】のチェックを外して、【次へ】をクリック

4

【新しいポートの作成】を選択します。【Standard TCP/IP Port】を選択して、【次へ】をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003:

【新しいポートの作成】 - 【Standard TCP/IP Port】を選択して【次へ】をクリックし、【標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード】が表示されたら、【次へ】をクリック

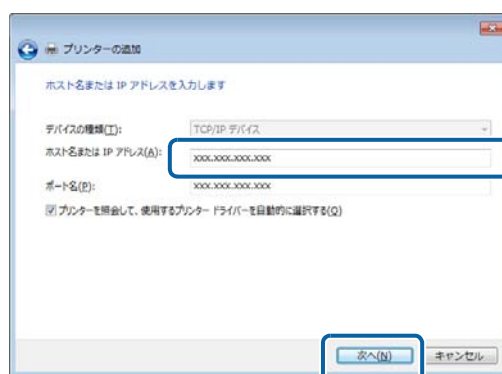


5

【ホスト名または IP アドレス】項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して、【次へ】をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003:

【プリンタ名または IP アドレス】項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して【次へ】をクリック
【標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了】画面が表示されたら【完了】をクリック



6

【ディスク使用】をクリックして、付属のソフトウェアディスクをコンピュータにセットします。

7

CD/DVD ドライブ名とフォルダー名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。

CD/DVD ドライブまたは以下のフォルダーを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダー
32bit 版 Windows	¥ Driver¥ Printer¥ Driver¥ WINX86
64bit 版 Windows	¥ Driver¥ Printer¥ Driver¥ WINX64

Windows XP/Windows Server 2003 をご使用の場合:

以上で終了です。

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2012/Windows Server 2008をご使用の場合:

引き続きポート構成を確認します。

ポート構成の確認

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2012/Windows Server 2008 で標準 TCP/IP ポートを使用してネットワーク印刷をするときは、以下の設定になっていることを確認してください。この設定がされていないと正しく印刷できないことがあります。

1 [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] を開きます。

Windows 8/Windows Server 2012:

デスクトップ画面で [設定] チャームから [コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] の順にクリック

2 対象プリンターのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

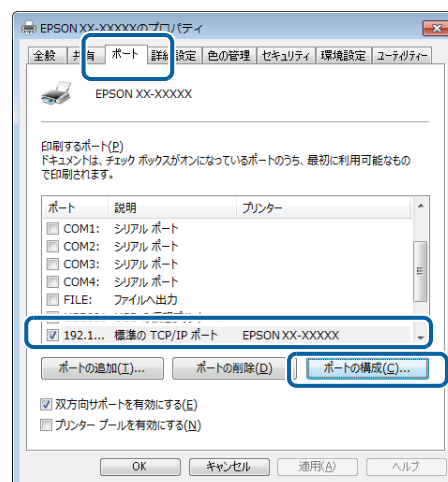
Windows Vista:

対象プリンターのアイコンを右クリックして、[管理者として実行] - [プロパティ] の順にクリック

Windows Server 2008:

対象プリンターのアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリック

3 [ポート] タブをクリックし、[標準の TCP/IP ポート] を選択して、[ポートの構成] をクリックします。

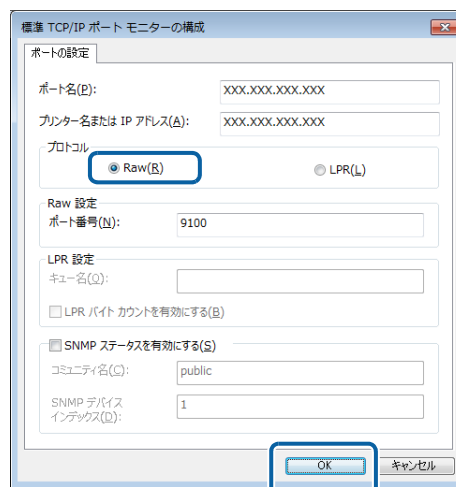


4 ポートの設定が以下のどちらかになっていることを確認します。

RAW の場合

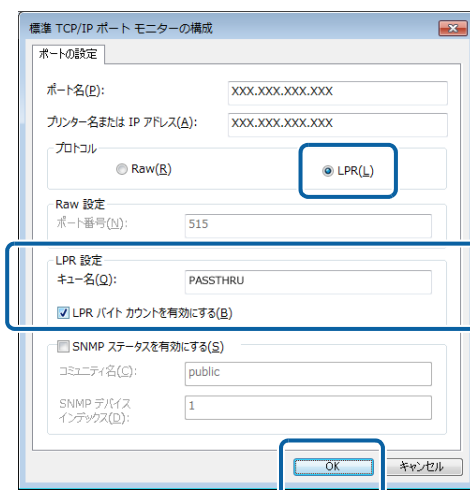
[プロトコル] で [RAW] が選択されていることを確認

RAW の場合

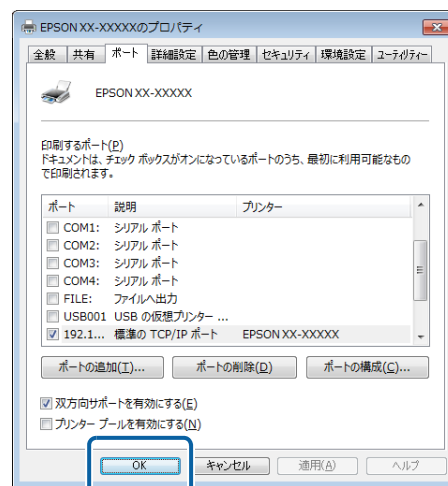


LPR の場合

[プロトコル] で [LPR] が選択され、[LPR 設定] の [LPR バイトカウントを有効にする] にチェックが付いていることを確認
[キュー名] に「PASSTHRU」と入力

LPR の場合**5**

[OK] をクリックします。



以上で終了です。

ネットワーク接続の状態を確認したいときは、「ネットワーク接続の確認」をご覧ください。

[🔗 33 ページ「ネットワーク接続の確認」](#)

設定したコンピュータ以外からも接続したいときは、「2 台目以降のコンピュータを追加接続」をご覧ください。

[35 ページ「2 台目以降のコンピュータを追加接続」](#)

Mac OS X の場合

以下をご覧くださいになり、プリンタードライバのインストールとプリンターの追加を行ってください。

<<http://epson.sn>>

ネットワーク接続の状態を確認したいときは、「ネットワーク接続の確認」をご覧ください。

[🔗 33 ページ「ネットワーク接続の確認」](#)

設定したコンピュータ以外からも接続したいときは、「2 台目以降のコンピュータを追加接続」をご覧ください。

[35 ページ「2 台目以降のコンピュータを追加接続」](#)

Wi-Fi Direct での接続設定

本機は、アクセスポイントを使わずに無線機器同士を接続する Wi-Fi Direct 接続に対応しています。

- ！重要**
- Wi-Fi Direct のセキュリティモードは「WPA2-PSK (AES)」のみ、オペレーションモードは「IEEE802.11 g」のみです。
 - Windows 8 では Wi-Fi Direct 接続に対応していません。

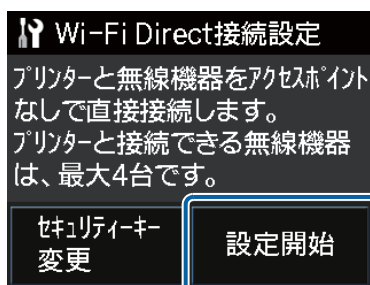
本機に無線 LAN（インフラストラクチャーまたはアドホック）設定がされていない状態のときに Wi-Fi Direct 接続設定を行うと、「シンプル AP モード」で接続されます。

- ！重要** シンプル AP モードは 4 台までの無線機器（子機）を接続できます。ただし、接続している子機間の通信はサポートしていません。

本機に無線 LAN（インフラストラクチャー）設定がされているときに Wi-Fi Direct 接続設定をすると、「Wi-Fi Direct モード」で接続されます。

本機の設定(シンプル AP モード)

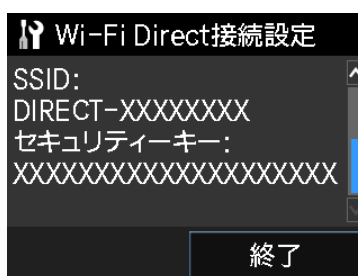
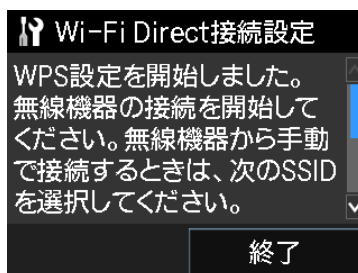
- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 ネットワーク概要表示画面で [メニュー] を押します。
- 3 [Wi-Fi Direct 設定] - [接続設定] を選択します。
- 4 [設定開始] を押します。



参考 セキュリティキーを変更する場合

[セキュリティキー変更] を押して、設定したいセキュリティキーを 8 ～ 22 文字以内で入力してください。シンプル AP モードのセキュリティキーを変更すると、本機と接続中の機器の Wi-Fi 接続が切断されます。

- 5** 接続する機器が WPS に対応している場合は、機器からの接続を開始します。手動で設定する場合は表示される SSID とセキュリティーキーをメモし、[終了] を押します。
画面をスクロールして最後まで確認してください。



以上で、本機のネットワーク設定が終了しました。手動で接続をする場合は接続する機器（コンピューターなど）から接続してください。

[25 ページ「機器からの接続」](#)

無線 LAN を無効、またはネットワーク設定を初期化したいときは、以下をご覧ください。

[55 ページ「無線 LAN を無効にする」](#)

[55 ページ「ネットワーク設定を初期化する」](#)

本機の設定(Wi-Fi Direct モード)

Wi-Fi Direct モードでの接続手順を説明します。Wi-Fi Direct 対応機器に限定して接続したいときは、「対応機器の限定」の手順を実施してください。

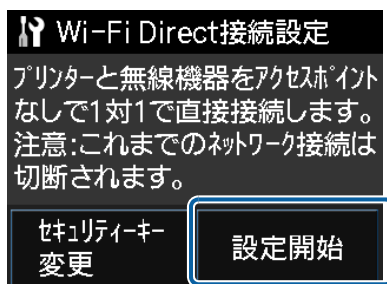
[23 ページ「対応機器の限定」](#)

参考

- Wi-Fi Direct モードは一時利用の接続形態のため、継続的に使用する場合は無線 LAN (インフラストラクチャーモード) 接続をお勧めします。
- Wi-Fi Direct モードで接続できるのは 1 台のみです。
- Wi-Fi Direct モード接続中は本機の無線 LAN 接続が切断されるため、無線 LAN 接続からは本機が使用できなくなります。なお、Wi-Fi Direct モードを切断すると本機は元のネットワーク接続に戻ります。
- Wi-Fi Direct モードで接続中は本機のファームアップデートはできません。

- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 ネットワーク概要表示画面で [メニュー] を押します。
- 3 [Wi-Fi Direct 設定] - [接続設定] を選択します。

4 [設定開始] を選択します。



以上で本機のネットワーク設定は終了です。本機の画面に表示される SSID とセキュリティキーを使って、機器（コンピュータなど）から接続してください。

[🔗 25 ページ「機器からの接続」](#)

無線 LAN を無効、またはネットワーク設定を初期化したいときは、以下をご覧ください。

[🔗 55 ページ「無線 LAN を無効にする」](#)

[🔗 55 ページ「ネットワーク設定を初期化する」](#)

以上で終了です。

対応機器の限定

本機と接続する機器を Wi-Fi Direct 対応機器に限定できます。この機能を有効にすると、Wi-Fi Direct モード接続時に本機と機器が相互通信しながら接続を確立するため、SSID やパスワードの入力が必要なくなります。ただし、iOS 搭載機器や Wi-Fi Direct 非対応機器とは Wi-Fi Direct 接続できなくなります。

Wi-Fi Direct 対応機器との接続に限定したいときは、Web Config で設定を変更してから、本機と Wi-Fi Direct 対応機器を接続します。

Web Config での設定

- 1 ネットワーク情報を表示して本機の IP アドレスを確認します。
[🔗 33 ページ「ネットワーク情報の確認」](#)
- 2 Web Config を起動します。
[🔗 47 ページ「Web Config」](#)
- 3 [基本設定] - [Wi-Fi Direct 設定] を選択します。
- 4 [Wi-Fi Direct 対応機器との接続に限定する] にチェックを付けてから [設定] をクリックします。
- 5 ブラウザーを閉じます。

以上で終了です。

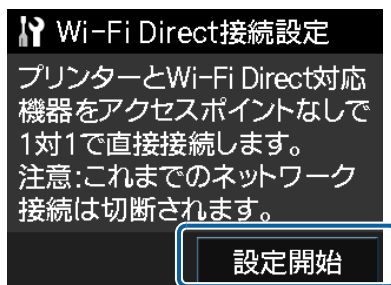
機器との接続手順

- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 ネットワーク概要表示画面で [メニュー] を押します。
- 3 [Wi-Fi Direct 設定] - [接続設定] を選択します。

- 4 接続する機器の Wi-Fi Direct 機能を有効にします。
操作方法は、接続する機器のマニュアルをご覧ください。



- 5 「設定開始」を押します。



機器と本機が 1 対 1 で通信します。自動で接続されるとメッセージが表示され、本機のホーム画面のアイコンが Wi-Fi Direct 接続状態に変わります。

[👉 28 ページ「各モードの確認方法」](#)

[👉 33 ページ「ネットワーク接続の確認」](#)

スマートフォンなどから印刷するときは、最新の「Epson iPrint」をインストールして本機をご利用ください。

[👉 48 ページ「Android/iOS 向けアプリ」](#)

無線 LAN を無効、またはネットワーク設定を初期化したいときは、以下をご覧ください。

[👉 55 ページ「無線 LAN を無効にする」](#)

[👉 55 ページ「ネットワーク設定を初期化する」](#)

以上で終了です。

機器からの接続

本機に設定された SSID、セキュリティキーを使って、機器からの接続を開始します。

機器からの接続手順は OS によって異なります。詳しくは、OS のヘルプや機器のマニュアルをご覧ください。

Windows の場合

ここでは、Windows 7 での接続を例に説明します。

- 1 タスクバーのネットワーク接続アイコンをクリックし、本機に設定された SSID を選択します。
「DIRECT-」から始まる SSID がシンプル AP モードの名前です。



- 2 セキュリティキーの入力を求める画面が表示されたら、本機に設定されたセキュリティキーを入力して接続します。

この後は、「2 台目以降のコンピューターを追加接続」の手順に沿ってプリンタードライバーなどのインストールと接続設定をしてください。

[🔗 35 ページ「2 台目以降のコンピューターを追加接続」](#)

ネットワーク接続の状態を確認したいときは、以下のどちらかをご覧ください。

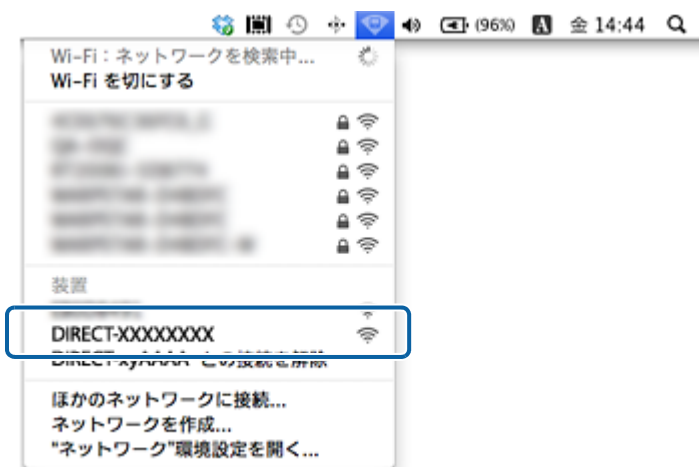
[🔗 28 ページ「各モードの確認方法」](#)

[🔗 33 ページ「ネットワーク接続の確認」](#)

以上で終了です。

Mac OS X の場合

- 1 Wi-Fi の状況アイコンをクリックして、本機に設定された SSID を選択します。
「DIRECT-」から始まる SSID がシンプル AP モードの名前です。



- 2 セキュリティーキーの入力を求める画面が表示されたら、本機に設定されたセキュリティーキーを入力して続けます。

この後は、「2 台目以降のコンピューターを追加接続」の手順に沿ってプリンタードライバーなどのインストールと接続設定を行ってください。

[🔗 35 ページ「2 台目以降のコンピューターを追加接続」](#)

ネットワーク接続の状態を確認したいときは、以下のどちらかをご覧ください。

[🔗 28 ページ「各モードの確認方法」](#)

[🔗 33 ページ「ネットワーク接続の確認」](#)

以上で終了です。

スマートフォンからの接続方法

手動で接続する場合と、WPS で接続する場合を説明します。接続後、スマートフォンから印刷するときは、最新の「Epson iPrint」をインストールしてご利用ください。

[🔗 48 ページ「Android/iOS 向けアプリ」](#)

手動で接続する場合

接続するスマートフォンから Wi-Fi ネットワーク設定をします。スマートフォンからは、Wi-Fi を接続する手順を行ってください。詳しい接続手順は、お使いのスマートフォンのマニュアルでご確認ください。以下は、iPhone からの接続例を紹介します。

- 1 Wi-Fi 接続画面で、本機に設定された SSID を選択します。
「DIRECT-」から始まるネットワーク名がシンプル AP モードの名前です。



- 2 本機に設定されたセキュリティキーを入力し、接続します。



以上で終了です。

WPS で接続する場合

スマートフォンがWPSに対応している場合は、Wi-Fi 設定にWPS 接続用のボタンが表示されます。該当のボタンを押すだけで本機と相互に通信して接続設定ができます。

スマートフォンからは、ネットワークプリンターとして検索できるようになります。

ネットワーク接続の状態を確認したいときは、以下のどちらかをご覧ください。

[🔗 28 ページ「各モードの確認方法」](#)

[🔗 33 ページ「ネットワーク接続の確認」](#)

切断方法

接続している機器の Wi-Fi をオフにするか他のネットワークに接続してください。

ここでは、本機での切断方法を説明します。

- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 ネットワーク概要表示画面で [メニュー] を押します。
- 3 [Wi-Fi Direct 設定] - [接続切断] を選択します。
- 4 メッセージを確認して [はい] を選択します。

以上で終了です。

シンプル AP モードでは本機に 4 台まで無線機器を接続できます。本機に接続されている機器数は、本機から「ネットワーク接続診断」を行い、ネットワーク接続診断レポートを印刷すると確認できます。

[🔗 34 ページ「ネットワーク接続診断」](#)

既に本機に 4 台の無線機器が接続されているときに本機と接続しようとする、本機に接続エラーが表示されます。このような場合は、本機を使用していない機器側で Wi-Fi 接続を切断（他のネットワークへ接続、または Wi-Fi をオフ）します。これにより、新たな機器を接続できるようになります。



参考

Wi-Fi Direct (シンプル AP モード) 接続中に Wi-Fi 接続が切断された場合は、以下をご覧ください。

[🔗 44 ページ「突然 Wi-Fi 接続が切断された」](#)

各モードの確認方法

本機がシンプル AP モード、または Wi-Fi Direct モードになっているときは、ホーム画面の接続アイコンが変わります。アイコンのデザインは、機種によって異なります。

シンプル AP モードの例	Wi-Fi Direct モードの例
	

Wi-Fi Direct モードのアイコンになっているときは、他のネットワーク接続が中断しています。本機と接続されている機器との Wi-Fi 接続が切断されると、本機は直前のネットワーク接続に戻ります。ホーム画面のアイコンが変わることで接続の状態を確認できます。

アクセスポイントを介せずに直接通信するアドホックモードで接続するには、コンピュータのアドホックネットワーク設定と、本機とコンピュータの接続設定が必要です。

- コンピューターがインフラストラクチャーモードで接続されていたら、インフラストラクチャーモードでの使用をお勧めします。
- コンピューターの無線 LAN アダプターがアドホックモードに対応している必要があります。
- IP アドレスは自動で取得することをお勧めします。自動にすると、コンピューターや本機に相互通信可能な IP アドレスが付与されるため、設定する必要がありません。
- アドホックモードでは強固なセキュリティは設定できません。対応しているセキュリティモードは WEP のみです。
- Windows 8 は、アドホックモードに対応していません。

アドホックモードでネットワーク接続できるようにコンピュータの設定をしてください。ここでは、Windows 7 での設定方法を例に説明します。各 OS での設定手順は、コンピュータまたは OS の説明書などを参照してください。

[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] の [ネットワークの状態とタスクの表示] の順にクリックしてください。

接続またはネットワークのセットアップ

接続オプションを選択します

ワイヤレス ネットワークに手動で接続します
非表示のネットワークに接続するか、または新しいワイヤレス プロファイルを作成...

職場に接続します
職場へのダイヤルアップまたは VPN 接続をセットアップします。

ダイヤルアップ接続をセットアップします
ダイヤルアップ接続を使用してインターネットに接続します。

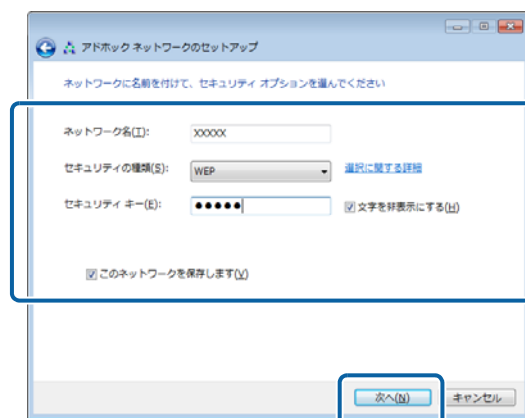
ワイヤレス、アドホック (コンピューター相互) ネットワークを設定します
ファイルやインターネット接続を共有するために、セットアップします。

次へ(N) >

キャンセル

29

- 5 アドホックネットワークのセットアップ情報を入力して、[次へ] をクリックします。



項目名	内容
ネットワーク名	アドホックのネットワーク名（SSID）を入力します。 ここで付けたネットワーク名が本機で検索されます。
セキュリティの種類	WEP を選択します。
セキュリティキー	セキュリティキーを入力します。 ここで指定したセキュリティキーを本機に入力してください。
このネットワークを保存します	チェックを付けます。

- 6 アドホックネットワークのセットアップ画面で【閉じる】をクリックします。

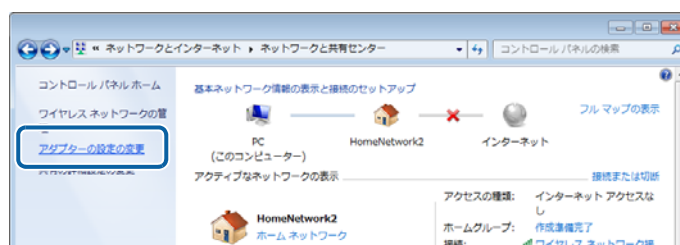
参考 上記の設定終了後、コンピューターの IP アドレスが自動的に取得する設定になっているかをご確認ください。
[30 ページ「IP アドレス自動取得設定の確認 \(Windows\)」](#)

以上で終了です。

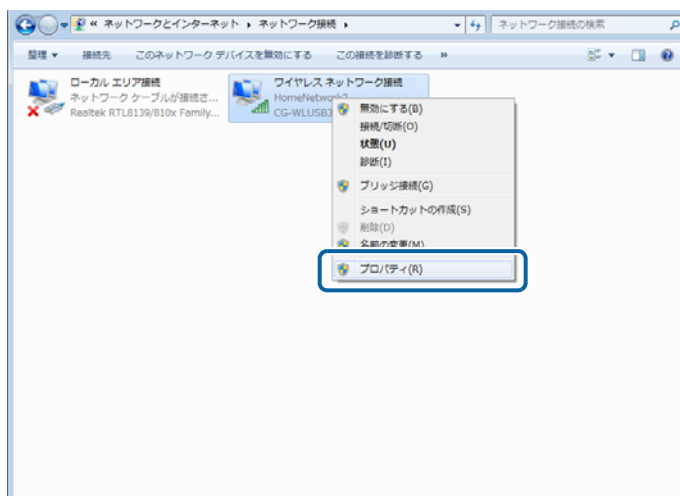
IP アドレス自動取得設定の確認 (Windows)

コンピューターの IP アドレスが自動的に取得する設定になっているかを確認する手順を説明します。

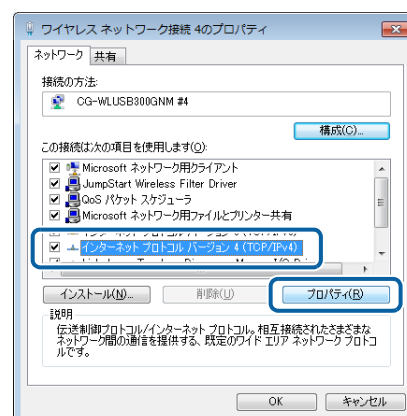
- 1 Windows の【ネットワーク設定】画面を表示させます。
[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] の [ネットワークの状態とタスクの表示] の順にクリック
- 2 【アダプターの設定変更】をクリックします。



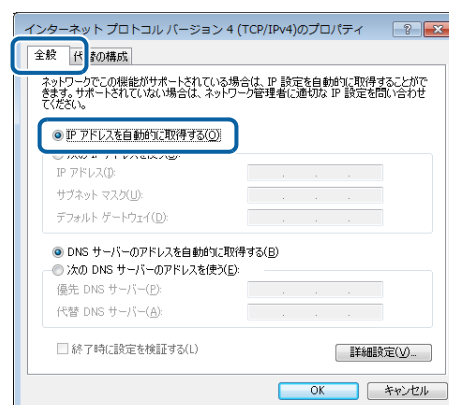
- 3 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックして、[プロパティ] をクリックします。



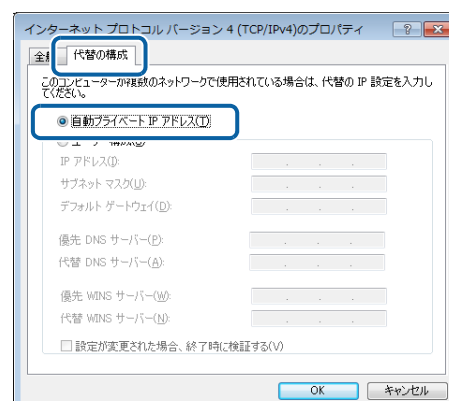
- 4 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択して、[プロパティ] をクリックします。



- 5 [全般] タブの [IP アドレスを自動的に取得する] が選択されていることを確認します。



- 6 [代替の構成] タブをクリックし、[自動プライベート IP アドレス] が選択されていることを確認します。



7 [OK]をクリックし、[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ]画面を閉じます。

8 [閉じる]をクリックし、[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]画面を閉じます。

以上で終了です。

本機とコンピューターの設定

コンピューターの設定が終わったら、本機とコンピューターの接続設定をします。

Windows の場合は付属のソフトウェアディスクを使って無線 LAN を設定します。アドホック設定を行ったコンピューターに付属のソフトウェアディスクをセットしてください。接続先の設定画面では「無線 LAN 接続」を選択し、後は画面に表示される案内通りに操作してください。

Mac OS X の場合は以下を参照して「プリンターの追加手順」を行ってください。

<<http://epson.sn>>

ネットワーク接続の状態を確認したいときは、「ネットワーク接続の確認」をご覧ください。

 [33 ページ「ネットワーク接続の確認」](#)

ネットワーク接続の確認

ネットワーク接続の状態を確認する手順を説明します。

ネットワーク情報の確認

ホーム画面で確認

ホーム画面のネットワークアイコンでネットワークの接続状態が確認できます。

アイコン	状態
	有線 LAN 接続中
	無線 LAN (インフラストラクチャーモード) 接続中 電波強度によりアイコンの形状が変わります。
	Wi-Fi Direct (シンプル AP モード) 接続中
	有線 LAN と Wi-Fi Direct (シンプル AP モード) の同時接続中
	Wi-Fi Direct (Wi-Fi Direct モード) 接続中
	アドホック接続中
	ネットワーク未設定

メニューから確認

本機の操作パネルでメニューを選択すると、ネットワークの設定と接続状態が確認できます。

また、ステータスシートを印刷すると、ネットワーク診断レポートやパネルでは表示されない詳細なネットワーク情報が確認できます。

- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 ネットワーク概要表示画面で [メニュー] を押します。
- 3 [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報確認] を選択します。
ネットワークステータスシートを印刷するには [印刷] を、終了するには [確認] を選択します。



- 参考** ホーム画面から [セットアップ] - [ネットワーク情報] を選択すると以下の情報を確認できます。
- ネットワーク情報確認
 - Wi-Fi Direct 接続確認
 - Google クラウド プリント情報確認
- それぞれの情報確認画面のガイドに案内がある場合は、ステータスシートの印刷ができます。

以上で終了です。

ソフトウェアから確認

Web Config および EpsonNet Config からネットワークの接続状態を確認できます。

[45 ページ「設定ソフトウェア」](#)

以上で終了です。

ネットワーク接続診断

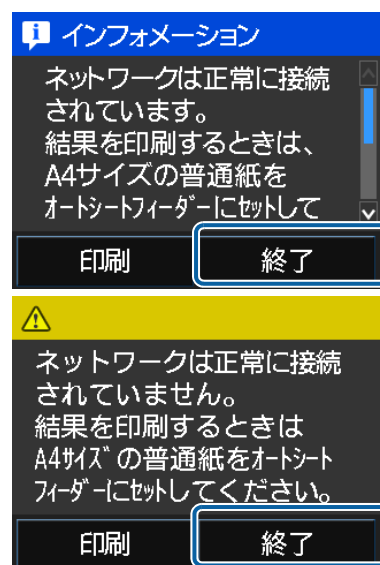
本機の操作パネルには、ネットワーク接続を診断する機能があります。本機をネットワークに接続できないときは、ネットワーク接続診断機能をお試しください。

- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 ネットワーク概要表示画面で [メニュー] を押します。
- 3 [ネットワーク設定] を選択します。
- 4 [ネットワーク接続診断] を選択します。
- 5 診断結果が表示されます。
右の画面のように「ネットワークは正常に接続されています。」と表示されれば、接続に問題はありません。[終了] を選択してください。

右の画面のように表示されたら、ネットワークは正常に接続されていません。A4 サイズの普通紙がセットされていることを確認し、診断レポートを印刷して診断結果の詳細を確認してください。
印刷しない場合または、終了する場合は [終了] を押してください。

- 6 印刷された診断レポートを確認します。
診断レポートの見方とエラーメッセージの対処方法は、以下のページをご覧ください。
[36 ページ「ネットワーク接続診断のエラー」](#)

以上で終了です。

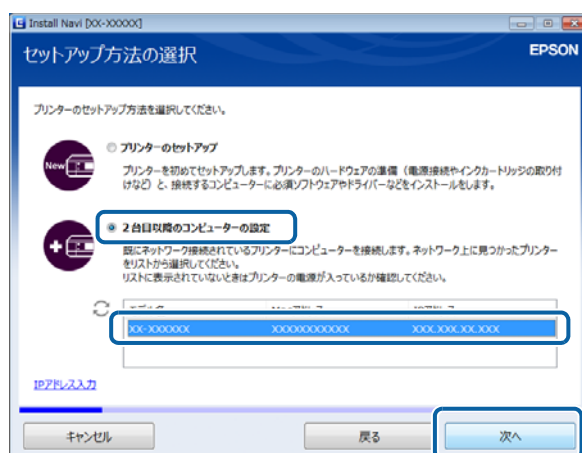


2 台目以降のコンピューターを追加接続

本機のネットワーク設定に使ったコンピューターとは別のコンピューター（2 台目以降）でネットワークプリンターを使えるようにします。

Windows の場合

- 1 接続するコンピューターに、付属のソフトウェアディスクをセットします。
インストールメニューでは「必須ソフトウェアのインストールと接続設定」を選択し、画面の指示に従って操作します。
- 2 以下の画面では「2 台目以降のコンピューターの設定」を選択し、リストから追加したいプリンターを選択して「次へ」をクリックします。



後は、画面に表示される指示に従って操作してください。

Mac OS X の場合

OS へのプリンターの追加手順でネットワークプリンターを追加してください。

<<http://epson.sn>>

設定 / 印刷で困ったときは

困ったときの対処方法を説明します。

ネットワーク接続診断のエラー

印刷した診断レポートに表示されているエラー番号を確認し、番号に応じた対処を行ってください。

ネットワーク接続診断レポート		不合格
指定のネットワーク (SSID) の有無の確認	○ K	診断結果 不合格
無線モードの確認	○ K	
セキュリティ方式の確認	○ K	
MACアドレスフィルタリング設定の確認	○ K	
セキュリティキーの確認	NG	
IPアドレスの確認	未診断	
IP詳細設定の確認	未診断	
セキュリティキーを確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。 * 信号強度が弱くなっています。 印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。 * 何らかのトラブルが発生したときは、マニュアル等をご覧の上、対処してください。		
ネットワーク設定情報		(E-7)
プリンター名	EPSONXXXXXX	エラー番号 (E-7)
プリンター型番	XX-XXXX	
接続形態	無線LAN接続	
接続状態	非接続	
TCP/IP設定方法	自動設定	
IPアドレス	XXX.XXX.XXX	
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX	
デフォルトゲートウェイ		
ネットワーク (SSID)	XXXXXXXXXXXX	
無線通信モード	インフラストラクチャー	
無線セキュリティ設定	WPA-PSK (AES)	
電波状態	悪い	
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX	
Google クラウド プリント	無効	
Google クラウド プリント設定URL	http://XXX.XXX.XXX.XXX/	

エラー番号	対処方法
E-1	以下を確認してください。 - LAN ケーブルが本機、ハブ (Hub) などネットワーク機器と正しく接続されているか - ハブ (Hub) などのネットワーク機器の電源が入っているか
E-2	- アクセスポイントの電源が入っていないときは、電源を入れてから再度本機のネットワーク設定をしてください。 - 本機とアクセスポイントは近くに置いて設定してください。 ネットワーク (SSID) を直接入力したときは、入力したネットワーク (SSID) が正しいかを確認して、再度入力してください。「ネットワーク (SSID)」は、印刷した「ネットワーク設定情報 / 接続診断レポート」の「ネットワーク設定情報」-「ネットワーク (SSID)」に表示されています。 - プッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS) で設定するときは、アクセスポイントが AOSS/WPS に対応しているか確認してください。AOSS/WPS に対応していないときはプッシュボタン自動設定はできません。 - アドホック接続するときは、始めにコンピューターのアドホック設定を行い、接続を開始している状態で再度本機のネットワーク設定をしてください。
E-3	- アドホック接続時は、接続するコンピューターの電源が入っているかを確認してください。入っていないときは、電源を入れてから再度本機のネットワーク設定をしてください。 - 本機と接続するコンピューターは近くに置いて設定してください。
E-4	アクセスポイントに設定されている無線規格が本機の対応する無線規格と一致しているかを確認してください。一致していないときは、アクセスポイントの無線規格を本機が対応する無線規格と合わせてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
E-5	アクセスポイントが以下のいずれかのセキュリティ方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティ方式を使用するようアクセスポイントの設定を変更して、再度本機のネットワーク設定をしてください。 - WEP-64bit (40bit) - WEP-128bit (104bit) - WPA PSK^{*1} (TKIP) - WPA2 PSK^{*2} (TKIP) - WPA PSK^{*1} (AES) - WPA2 PSK^{*2} (AES) - WPA (TKIP/AES) - WPA2 (TKIP/AES) ^{*1} WPA Personal と呼ばれます。 ^{*2} WPA2 Personal と呼ばれます。
E-6	- アクセスポイントのマニュアルを参照して、MAC アドレスフィルタリング機能を確認してください。フィルタリング機能が「有効」のときは、本機の MAC アドレスを登録し、本機がフィルタリングされないように設定してください。本機の MAC アドレスは、ステータスシートで確認してください。 33 ページ「ネットワーク情報の確認」 - アクセスポイントの WEP セキュリティ方式で Shared 認証が「有効」のときは、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
E-7	- アクセスポイントに設定されているセキュリティキーと入力したセキュリティキーが一致しません。大文字、小文字を含めて正しいセキュリティキーで再度設定してください。 - 無線 LAN 接続で突然接続できなくなったときは、以下を確認してください。 - 今お使いのネットワーク環境に、新たに別の無線機器を AOSS で設定したか - お使いのアクセスポイントが、株式会社バッファロー製のプッシュボタンで設定 (AOSS) ができるタイプか - ソフトウェアディスクから「プッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS)」以外の方法で無線 LAN 設定をしたか 上記が当てはまるときは、ソフトウェアディスクを使ってネットワーク設定をやり直してください。
E-8	- 本機の TCP/IP 設定を「自動設定」にしているときは、アクセスポイントの DHCP 機能を確認し、無効になっているときは有効に変更してください。 - 本機の TCP/IP 設定を「手動設定」にしているときは、手動で設定した IP アドレスが有効範囲外 (0.0.0.0 など) のため、無効になっています。再度有効な IP アドレスを入力してください。

エラー番号	対処方法
E-9	1. 以下を確認してください。 • コンピューターなど本機を利用する機器の電源が入っているか • コンピューターなど本機を利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか 2. 1. が問題ないときは、ソフトウェアディスクを使ってネットワーク設定を最初からやり直してください。
E-10	1. 以下を確認してください。 • ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか • 本機の TCP/IP 設定を「手動設定」にしているときはネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか 2. ネットワークアドレスに問題があったときは、正しいアドレスに変更してください。 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、操作パネルまたはステータスシートで確認してください。 33 ページ「ネットワーク情報の確認」
E-11	1. 以下を確認してください。 • 本機の TCP/IP 設定を「手動設定」にしたときは、本機に手動で設定したデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか • デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか 2. デフォルトゲートウェイに問題があったときは、正しいアドレスに変更してください。 デフォルトゲートウェイは、ステータスシートで確認してください。 33 ページ「ネットワーク情報の確認」
E-12	1. 以下を確認してください。 • ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか • 本機の TCP/IP 設定を「手動設定」にしたときは、本機に手動で設定したネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか • 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか • 他の機器の IP アドレスと重複していないか 2. 1. が正しいとき、以下を行ってください。 • 本機と同じネットワーク上のコンピューターで、ソフトウェアディスクを使ってネットワーク設定をします。 EpsonNet Setup の [プリンターの選択] 画面に対象のプリンターが表示されたときはそのまま進み、[TCP/IP の設定] 画面で本機の IP アドレスをネットワーク環境に合わせて設定してください。 対象プリンターが検索できないときは、セキュリティキーが間違っている可能性があります。正しいセキュリティキーを設定してください。 • セキュリティタイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティキーが本機に設定されているかを確認してください。
E-13	1. 以下を確認してください。 • ネットワーク機器（モデム、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか • 本機以外のネットワーク機器が手動で TCP/IP 設定されていないか（他のネットワーク機器の TCP/IP 設定が手動で、本機の TCP/IP 設定のみ「自動設定」となっているときは、本機だけ異なるネットワークになる可能性があります。） 2. 1. が正しいとき、以下を行ってください。 • 本機と同じネットワーク上のコンピューターでソフトウェアディスクを使ってネットワーク設定をします。 EpsonNet Setup の [プリンターの選択] 画面に対象のプリンターが表示されたらそのまま進み、[TCP/IP の設定] 画面で本機の IP アドレスをネットワーク環境に合わせて設定してください。 対象プリンターが検索できないときは、セキュリティキーが間違っている可能性があります。正しいセキュリティキーを設定してください。 • セキュリティタイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティキーが本機に設定されているかを確認してください。

その他ネットワークの環境について

診断レポートのエラーメッセージの下にはネットワーク環境の情報が表示されます。メッセージとその対処方法は次の通りです。

エラーメッセージ	対処方法
* 信号強度が弱くなっています。印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。	電波が弱いために印刷が遅くなる、または途切れる可能性があります。 アクセスポイントと本機の距離を短くしたり、間にある障害物を取り除いたりすると改善することがあります。
* 設定された無線 LAN のチャンネルは電波が混雑しています。印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。	隣接する部屋や建物など周囲に他の無線ネットワークがあり、電波干渉している可能性があります。 アクセスポイントと本機の距離を短くすると改善することがあります。また、アクセスポイントのチャンネル設定を見直すと改善することがあります。詳しくは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
* 信号強度が弱くなっています。設定された無線 LAN のチャンネルは電波が混雑しています。印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。	電波が弱いために印刷が遅くなったり途切れてしまったりする、または、隣接する部屋や建物など周囲に他の無線ネットワークがあり、電波干渉している可能性があります。 アクセスポイントと本機の距離を短くしたり、間にある障害物を取り除いたりすると改善することがあります。また、アクセスポイントのチャンネル設定を見直すと改善することがあります。詳しくは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

設定や印刷に関するトラブル

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない



TCP/IP で使用するとき、コンピューターと本機が通信できていますか？

本書の「PING コマンドによる通信確認方法」を参照して、通信できているか確認してください。

🔗 [53 ページ「PING コマンドによる通信確認」](#)

通信できていないときは、以下の「ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？」や「TCP/IP で使用するとき、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？」を参照してください。



ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？

本機の電源が入っていて、本機を接続しているハブのポートのリンクランプが点灯または点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、以下を確認してください。

- 他のポートに接続してみる
- 他のハブに接続してみる
- LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、本機が故障している可能性があります。本機のマニュアルを参照してください。



本機の設定に失敗していませんか？

本機の設定に間違いがある可能性があります。購入時の設定に戻してからネットワーク設定をやり直してください。購入時の設定に戻すには、EpsonNet Config で「工場出荷時設定」または「リセット」を実行します。パスワードを忘れてしまったときはインフォメーションセンターにご相談ください。

WSD を使用してセットアップできない



ご使用のコンピューターの OS は Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2012/Windows Server 2008 ですか？

WSD は上記 OS の標準のプロトコルです。それ以外の OS では使用できません。



セットアップに失敗していませんか？

各 OS の説明書を参照してセットアップをやり直してください。

設定する IPv4 アドレスがわからない



本書の「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」を参照してください。

ネットワーク管理者がいるときは、管理者に確認してください。

🔗 [50 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」](#)

設定した IP アドレスが変わってしまう



ルーターなどで DHCP 機能を使用していませんか？

DHCP 機能で本機に IP アドレスを設定すると、本機の電源を入れるたびにコンピューターに設定したプリンターポートを変更しなければなりません。

以下のいずれかの方法で本機に固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

- DHCP 機能を持つ機器のスコープ(クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲)の範囲外の IP アドレスを設定する。
- DHCP 機能を持つ機器のバインドを使用して、本機を特定する。
- DHCP 機能を持つ機器で除外アドレスに設定する。



スコープ範囲、バインド、除外アドレスなどの設定方法は、ルーターなど DHCP 機能を持つ機器のマニュアルを参照してください。

ただし、EpsonNet Print によるプリンターポートの設定や Bonjour 印刷（Mac OS X で Bonjour を使用するとき）では DHCP 機能が使用できません。

Mac OS X に関するトラブル

プリンターの追加で設定したいプリンター名が表示されない



プリンタードライバをインストールしていますか？

<<http://epson.sn>> を参照してプリンタードライバをインストールしてください。



コンピューターにネットワーク設定をしていますか？

EpsonNet Config（Mac OS X）[ネットワーク I/F プロパティ] 画面の [TCP/IP] - [Bonjour] で [Bonjour を使用する] にチェックが付いているか確認してください。

Bonjour で印刷できない



大きなデータの印刷や大きな用紙に印刷していませんか？

Bonjour では、大きなデータや用紙を印刷するときに、コンピューターの HDD に多くの空き容量を必要とすることがあります。

必要とする HDD の空き容量は、用紙サイズ、印刷データ、印刷設定などにより変動します。

コンピューターから印刷を中止しても本機の印刷が中止されない



Mac OS X v10.6.8 で、AirPrint 対応のネットワークプリンターから印刷しているときは、プリンタードライバからの中止ができません（画面上ではできたように見えますが、実際は中止されません）。

印刷の中止は、本機の中止ボタンで行ってください。

プリンタードライバから印刷を中止したいときは、以下の設定をしてください。

1

Web Config を起動します。

47 ページ [Web Config]

2

[基本設定] - [AirPrint 設定] を選択します。

3

[最優先プロトコル] を [Port9100] に変更し、[設定] をクリックします。

4

設定の確認画面で [Port9100] に変更されていることを確認し、[設定] をクリックします。

5

設定が終了したら、ブラウザを閉じます。

使用するポートを変更したので、プリンターリストに本機を登録し直します。

6

[アップル] - [システム環境設定] - [プリントとファクス] を順にクリックします。

7

プリンタリストからポートの設定を変更した本機を選択し、[-] をクリックして本機を削除します。

8

プリンタリスト下の [+] をクリックします。

9

[デフォルト] が選択されていることを確認し、リストから追加したいプリンターを選択します。

10

[追加] をクリックします。

このプリンターから印刷を行うと、プリンタードライバから印刷を中止できるようになります。

AirPrint に関するトラブル

AirPrint で印刷中、複数ページの印刷をしても最後のページしか印刷されないときは、以下を確認してください。



ご使用の iOS のバージョンが古い可能性があります。

AirPrint をお使いのときは、iOS5 以降にバージョンアップしてください。

Wi-Fi Direct(シンプル AP モード)でのトラブル

Wi-Fi Direct (シンプル AP モード) で接続中に動作がおかしいときは、以下を確認してください。



Windows コンピューターに USB タイプのモバイルデータ通信端末を接続してインターネットをご利用のとき、シンプル AP モードで本機を接続したらインターネット接続ができなくなった

本機との Wi-Fi Direct (シンプル AP モード) 接続と低速のモバイルデータ通信のインターネット接続を同時に使っている場合、本機との接続が優先されて、インターネット接続ができなくなる可能性があります。コンピューターがインターネット接続できなくなった場合は、以下の操作をお試しください。

1

Windows の【ネットワーク接続】画面を表示させます。

Windows 8/Windows 7/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2 :

[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークの状態とタスクの表示] - [アダプターの設定の変更] の順にクリックしてください。

Windows Vista/Windows Server 2008 :

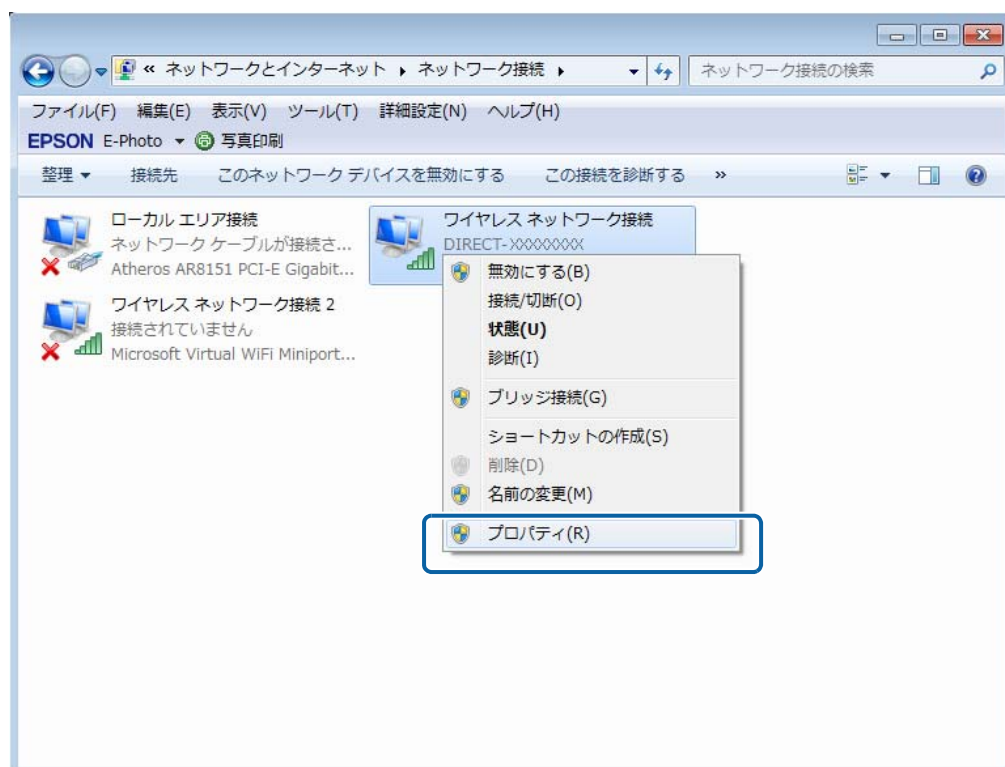
[スタート]-[ネットワーク]-[ネットワークと共有センター]-[ネットワーク接続の管理] の順にクリックしてください。

Windows XP :

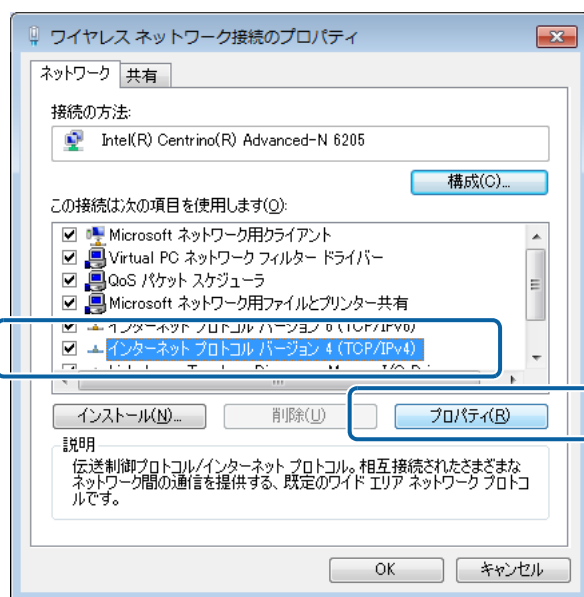
[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [ネットワーク接続] の順にクリックしてください。

2

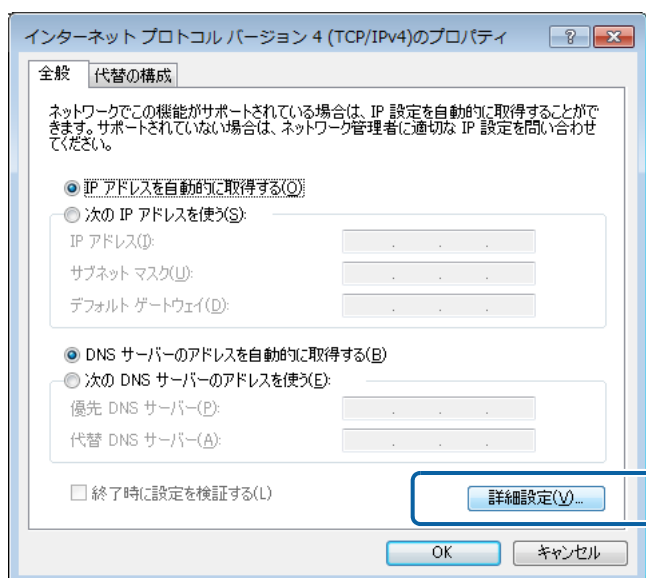
【ワイヤレスネットワーク接続】(DIRECT-XXXXXXXX) を選択し、右クリックで表示されるメニューの【プロパティ】を選択します。



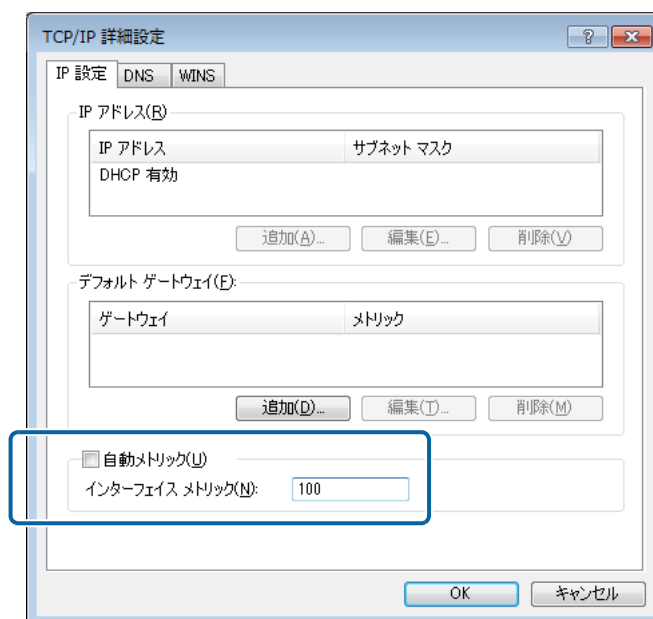
- 3 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



- 4 [詳細設定] をクリックします。



- 5 【自動メトリック】のチェックを外し、【インターフェイス メトリック】に「100」を入力します。



- 6 表示されている画面を全て閉じます。

この手順を実行してもインターネット接続ができない場合は、手順 3 の画面で【インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)】に対しても同じ操作をしてください。



突然 Wi-Fi 接続が切断された

以下の状態になっていないか、本機の操作パネルで確認してください。

- 本機の電源が切れていないか
- Wi-Fi Direct (シンプル AP モード) のセキュリティーキーが変更されていないか
- 本機のネットワーク設定が変更されていないか

< Wi-Fi Direct(シンプル AP モード)のセキュリティーキーが変更された >

無線機器に登録されている「DIRECT-XXXXXXXX」の接続設定を一旦削除します。そして、もう一度同じ名前の「DIRECT-XXXXXXXX」を選択して、新しいパスワードを入力してください。
詳しい手順は、無線機器のマニュアル等をご覧ください。

< ネットワーク設定が変更された >

本機の操作パネルに表示されるアイコンを確認してください。シンプル AP 以外のアイコンになっているときは、ネットワーク設定が変更されています。アイコンの意味は、以下から確認してください。

🔗 33 ページ「ネットワーク情報の確認」

違うネットワーク設定になっている状態から再度シンプル AP モードの接続に変更するには、本機のネットワーク設定を初期化して、本機にネットワーク設定がされていない状態から Wi-Fi Direct 接続設定を再度行ってください。

🔗 55 ページ「ネットワーク設定を初期化する」

🔗 21 ページ「Wi-Fi Direct での接続設定」

ソフトウェアのご案内

エプソンのネットワークソフトウェアなどを説明します。

印刷用ソフトウェア - EpsonNet Print

Windows でネットワーク印刷をするときに使用するソフトウェアです。OS 標準搭載の印刷方法以外で印刷するときに使用します。EpsonNet Setup を使ってセットアップすると EpsonNet Print ポートが自動で作成されます。

- スプーラー画面に本機のステータスを表示できます。
- IPv4 アドレスを自動追従するため、ネットワークインターフェイスのアドレスが DHCP 機能によって自動的に割り当てられても、プリンターポートの設定変更が不要です。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）を LPR プリンターとして使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/Epson 拡張 /RAW）を使い分けることで、印刷方法を 3 種類から選べます。
- IPv6 アドレスには対応していません。

設定ソフトウェア

本機のネットワーク設定を、コンピューターから設定するときに使用するソフトウェアです。

EpsonNet Setup

ウィザード形式で、ネットワーク設定ができるソフトウェアです。画面の指示に従って設定を進めると、ネットワーク設定が完了します。

Mac OS X では、セットアップの案内ページ <<http://epson.sn>> の案内に従って EpsonNet Setup をインストールしてソフトウェアを起動してください。EpsonNet Setup はネットワーク設定のみします。

Windows では、ソフトウェアディスクからインストーラーでネットワークをセットアップし、プリンターポート（EpsonNet Print）を自動作成します。

画面に表示されない項目（IPv6、DNS サーバーの登録、SNMP など）は、EpsonNet Config で設定してください。

EpsonNet Config（ソフトウェアディスク収録）

ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコル（TCP/IP、SNMP）などが設定できるソフトウェアです。詳細はソフトウェアのマニュアルを参照してください。

インストール方法

Windows では、ソフトウェアディスク内の以下からインストールしてください。

CD/DVD ドライブ：¥Network¥EpsonNetConfig¥Setup.exe

CD/DVD ドライブがない場合、または Mac OS X の場合は、EPSON Software Updater を起動して、EpsonNet Config をインストールしてください。

起動方法

Windows の場合

[スタート] - [すべてのプログラム (またはプログラム)] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config V*] (* はバージョン名) - [EpsonNet Config] をクリックします。

Windows 8 の場合は、デスクトップ画面でチャームを表示し、[アプリ] - [検索] で「EpsonNet Config」と入力してください。検索結果から EpsonNet Config を起動します。

Mac OS X

[ハードディスク] - [アプリケーション] - [EpsonNet Config V*] (*はバージョン名) - [EpsonNet Config.App] をダブルクリックしてください。

アンインストール方法

管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

Windows の場合

- 1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] を開きます。

Windows 8/Windows Server 2012:

デスクトップ画面の [設定] チャームから [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003:

[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] の順にクリック

- 2 削除するソフトウェアを選択して、[アンインストール] (または [削除]、[変更と削除]) をクリックします。

Windows Vista:

[アンインストール] (または [アンインストールと変更]) をクリックして、[ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリック

- 3 この後は、画面の指示に従ってください。

Mac OS X の場合

アプリケーションソフトのアンインストールは Uninstaller を使います。Uninstaller は EPSON Software Updater、またはエプソンのホームページからダウンロードしてください。

Uninstaller を起動すると、インストールされているエプソン製アプリケーションソフトが一覧表示されます。アンインストールしたいアプリケーションソフトを選択して、画面の指示に従ってアンインストールしてください。



Uninstaller がない場合は、[アプリケーション] フォルダーにあるプログラムフォルダーをゴミ箱にドラッグ & ドロップしてください。

以上で終了です。

Web Config

Web Config は本機の設定を確認・変更できる機能でブラウザから表示できます。[基本設定] と [詳細設定] のページを切り替えられます。本機に IP アドレスが設定されていて、コンピューターと同一のネットワークに接続されている環境でのみ使用できます。

起動

Web Config を使用するためには、以下の設定をしておいてください。

- ① 設定に使うコンピューターへの IP アドレス設定
- ② 設定に使うコンピューターへの Web ブラウザーのインストール（JavaScript を有効にする）
- ③ 本機への IP アドレス設定



お使いの Web ブラウザーによっては、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いの Web ブラウザーおよび OS の説明書を参照してください。

Windows で Web ブラウザーから起動

Windows の場合は Web ブラウザーを起動し、本機の IP アドレスをアドレスバーに入力して、[Enter] または [return] キーを押します。

HTTP アクセス

IPv4 : http:// 本機の IP アドレス / 例) http://192.168.100.201/

IPv6 : http://[本機の IP アドレス]/ 例) http://[2001:db8::1000:1]/

HTTPS アクセス

IPv4 : https:// 本機の IP アドレス / 例) https://192.168.100.201/

IPv6 : https://[本機の IP アドレス]/ 例) https://[2001:db8::1000:1]/



- IP アドレスを自動取得にしているときは、IP アドレスが変わることがあります。以前に入力した IP アドレスやブックマークなどを利用して指定しても Web Config が起動できないときは、本機の操作パネルで IP アドレスを確認してください。
- プリンター名が DNS に登録されている場合は、IP アドレスの代わりにプリンター名も使用できます。
- Windows Server 2008 の Microsoft Internet Explorer で本ソフトウェアの起動時に警告画面が表示されたら、内容を確認して [追加] をクリックしてください。

Mac OS X で Safari から起動

1

メニューから [Safari] - [環境設定] を選択します。

2

[ブックマーク] ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。

ブックマークバー : Bonjour を表示

ブックマークメニュー : Bonjour を表示

3

アドレスバー下のメニューに追加された [Bonjour] をクリックして、リストから本機 (Bonjour プリンター名) を選択します。

Web Config が Safari 上に表示されます。表示されないときは、本機の Bonjour 機能が有効になっているか確認してください。

EpsonNet Config から起動

EpsonNet Config のリスト画面から、設定する本機を選択して [ブラウザの起動] をクリックします。

ネットワークマップから起動

Windows Vista/Windows 7 では、OS に搭載されているネットワークマップから起動できます。

[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークの状態とタスクの表示] - [フルマップの表示] の順にクリックして、表示された画面で本機をクリックします。

Android/iOS 向けアプリ

Epson iPrint は写真や Web、文書などの印刷の他、複合機であればスキャンデータの保存や印刷もできる、Android や iOS で動作する無料のアプリです。詳細は、URL または QR コードからご覧ください。



<http://ipr.to>

付属のソフトウェア使用時のトラブル

EpsonNet Config/Web Config が起動または設定できない



本機に IP アドレスを設定していますか？

Web Config を起動するには、先に EpsonNet Config、または本機の操作パネルで IP アドレスを設定してください。
[🔗 33 ページ「ネットワーク情報の確認」](#)

設定ソフトウェア起動時に製品名 / IP アドレスが表示されない



[Windows セキュリティの重要な警告] 画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択しましたか？

[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Setup または EpsonNet Config で製品名が表示されません。

通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで例外プログラムとして登録してください。

！重要

Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピューターウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。

弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

1

Windows ファイアウォールの例外プログラムの許可画面を開きます。

Windows 8:

デスクトップ画面の設定チャームから [コントロールパネル] - [Windows ファイアウォール] - [Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] の順に選択し、[設定の変更] をクリック

Windows 7:

[スタート] - [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] の順に選択して、[設定の変更] をクリック

Windows Vista:

[スタート] - [コントロールパネル] - [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] の順に選択して、表示される [ユーザーアカウント制御] 画面は [続行] をクリック

Windows XP:

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [セキュリティ センター] - [Windows ファイアウォール] の順に選択し、表示された画面で [例外] をクリック

Windows Server 2012:

デスクトップ画面の設定チャームから [コントロールパネル] - [Windows ファイアウォール] - [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] の順に選択

Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2:

[スタート] - [コントロールパネル] - [Windows ファイアウォール] - [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] または [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] の順に選択

Windows Server 2003:

[スタート] - [コントロールパネル] - [Windows ファイアウォール] の順に選択し、表示された画面で [例外] タブをクリック

2**例外登録するプログラムを選択します。****Windows 8/Windows Server 2012:**

[別のアプリの許可] をクリックして「EpsonNet Config」を選択し、[OK] をクリックします。

Windows 7/Windows Server 2008 R2:

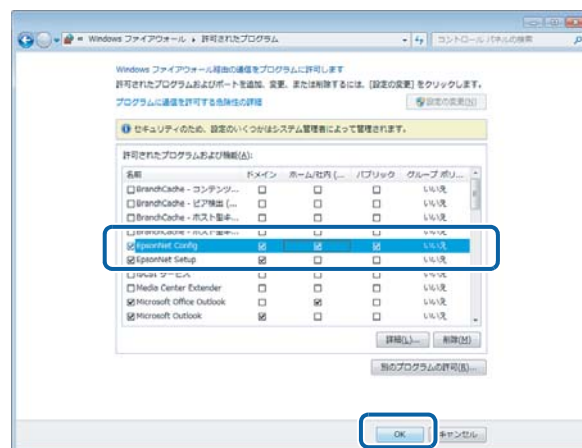
[別のプログラムの許可] をクリックして「EpsonNet Config」を選択し、[追加] をクリックします。

Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008/Windows Server 2003:

[プログラムの追加] をクリックして「EpsonNet Config」を選択し、[OK] をクリックします。



参考 EpsonNet Setup を追加するときは、付属のソフトウェアディスクをコンピューターにセットして [参照] をクリックし、ソフトウェアディスク内の「ENEasyApp.exe」を選択してください

3**例外登録リストに追加されたことを確認して [OK] をクリックします。**

市販のセキュリティソフトによっては、上記作業をしても表示できないものがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを終了してから、本ソフトウェアを使用してみてください。

以上で終了です。

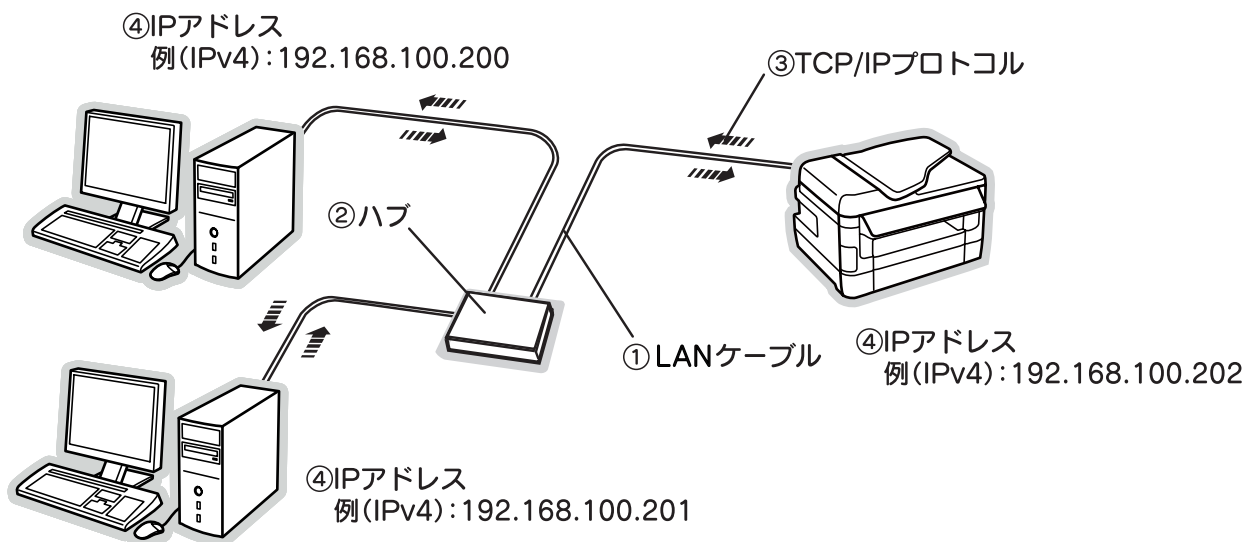
**通信エラーとする時間を変更してみてください。**

EpsonNet Config の [ツール] - [オプション] - [タイムアウト] で、通信エラーとする時間を大きい値に変更してみてください。ただし、EpsonNet Config の動作が遅くなる（検索に時間がかかります）ため注意してください。

付録

ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識

本機のネットワーク共有に必要なネットワーク環境を IPv4 アドレスで説明します。



①LAN(ラン)ケーブル

市販のLAN ケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。ケーブルの接続の規格は伝送速度によって異なります。本機のネットワーク仕様は、本機のマニュアルをご覧ください。

②ハブ(HUB)

LAN ケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のコンピューターや本機はハブを介して接続します。

③TCP/IP(ティーシーピーアイピー)

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の 1 つです。インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。ネットワーク上の全てのコンピューターに組み込む必要があります。

④IP アドレス(アイピーアドレス)

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、コンピューターをネットワーク上で使用するには、コンピューター 1 台につき 1 つの識別子（アドレス）が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列（例（IPv4）：192.168.192.168）で表されます。ネットワーク上の全てのコンピューターや本機に IP アドレスを割り振る必要があります。

[51 ページ \[IP アドレス \(IPv4 アドレス\) の設定\]](#)

IP アドレス(IPv4 アドレス)の設定

複数のコンピュータで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続、電子メールの送受信など）をするときには、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（<http://www.nic.ad.jp/>）に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダー（通称 ISP）が代行します）。

ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、以下の範囲のプライベートアドレスが使用できます。

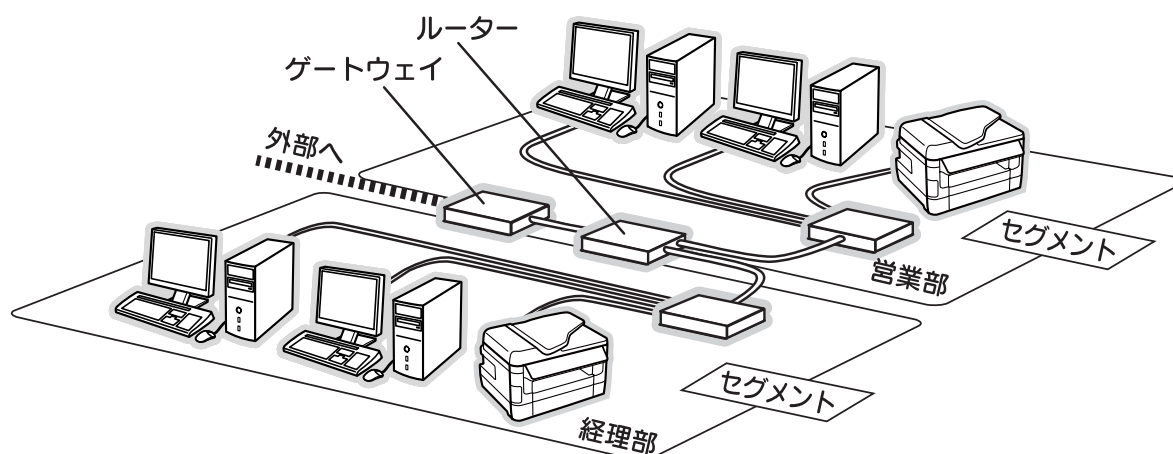
プライベートアドレス	10.0.0.1 ~ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ~ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ~ 192.168.255.254

IP アドレスの割り振り方

IP アドレスをネットワーク上のコンピュータに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。

電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルーター*といわれる中継器で分けます。

* ゲートウェイ・ルーターとは
同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルーター、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルーターによって分けられるエリアをセグメントといいます。



エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例（IPv4）：255.255.255.0）で表されます。

サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスといいます）、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。サブネットマスクの詳細な説明は、インターネットなどを参照してください。

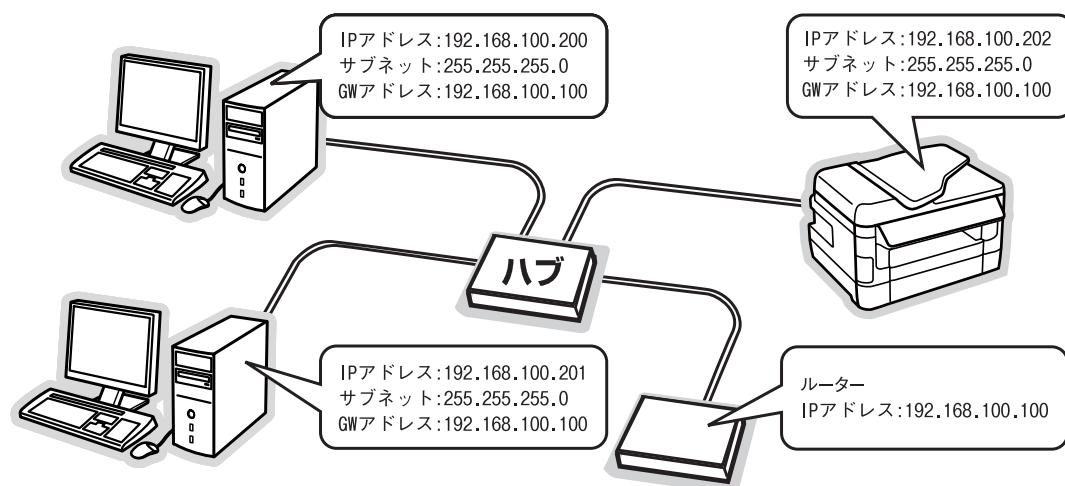
<例> IP アドレス（IPv4）が「192.168.100.200」の場合

エリアを示すアドレス	192.168.100.200	各機器のアドレス
IP アドレス	192.168.100.200	
サブネットマスク	255.255.255.0	

本機を利用するコンピューターは、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスなどを設定する必要があります。下表を参考に設定してください。

IP アドレス (IPv4)	あるコンピューターは 192.168.100.200、他のコンピューターには 192.168.100.201、本製品のネットワークインターフェイスには 192.168.100.202 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 で問題ありません。本機を利用する全てのコンピューターで同じ値にしてください。
ゲートウェイ (GW)	ゲートウェイになるサーバーやルーターのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

<例：IPv4 の場合>



PING コマンドによる通信確認

TCP/IP ネットワーク環境で、コンピューターに設定された IPv4 アドレスと本機に設定した IPv4 アドレスを確認してから、コンピューターと本機の通信ができていないか確認します。

☞ 53 ページ「Windows の場合」

☞ 54 ページ「Mac OS X の場合」

Windows の場合

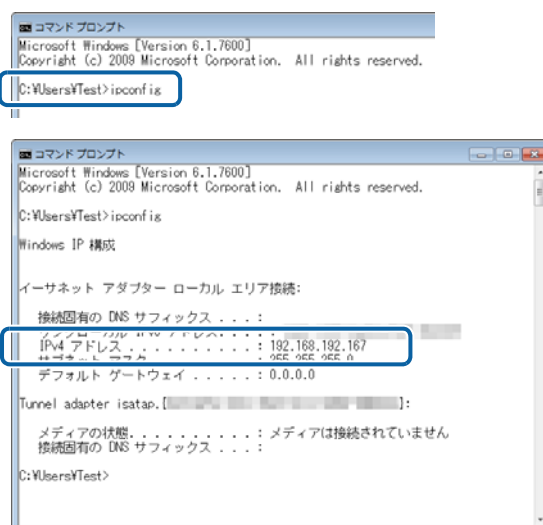
- 1 [スタート] メニューから [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を開きます。

Windows 8/Windows Server 2012:

画面の左端で右クリック - [コマンドプロンプト] をクリック

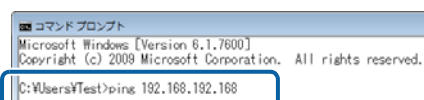
- 2 キーボードから [ipconfig] と入力して、[Enter] キーで実行します。

- 3 IP アドレスを確認します。
「イーサネット アダプター ローカル エリア接続」の「IPv4 アドレス」を確認します。



- 4 本機の IP アドレスを確認します。
本機の IP アドレスは、操作パネルで確認できます。
☞ 33 ページ「ネットワーク情報の確認」

- 5 キーボードから [ping] スペース [プリンターの IP アドレス] を入力して、[Enter] キーで実行します。



通信しているときは、図 1 のように [～からの応答: バイト数...] が表示されます。

通信できていないときは図 2 のように [～からの応答: 宛先ホストに到達できません。] が表示されます。各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1

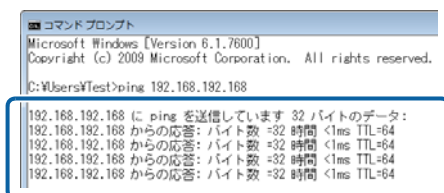
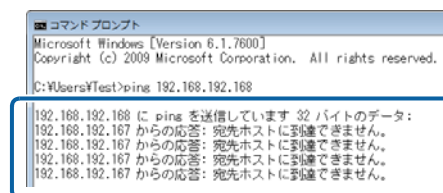


図 2



以上で終了です。

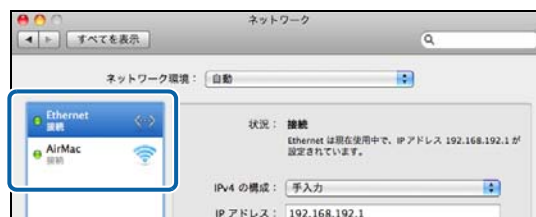
Mac OS X の場合

1 アップルメニュー - [システム環境設定] の順にクリックします。

2 [ネットワーク] をクリックして、[ネットワーク環境:] で[自動]が選択されていることを確認します。



3 画面左側の項目からお使いのネットワーク (Ethernet など) を選択します。



4 [IPv4 の構成] (または [構成]) からネットワーク環境に合わせた項目を選択します。

DHCP サーバを使用している場合は [DHCP サーバを使用] (または [DHCP サーバを参照]) を選択し、IP アドレスを固定で使用している場合は [手入力] を選択します。



5 [IP アドレス] を確認します。



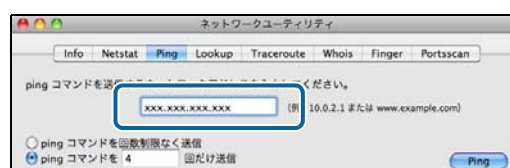
6 [起動ディスク] - [アプリケーション] - [ユーティリティ] - [ネットワークユーティリティ] の順にダブルクリックします。

7 [Ping] タブをクリックします。

8 ネットワークアドレス入力欄に本機の IP アドレスを入力します。

本機の IP アドレスは操作パネルで確認できます。

➡ 33 ページ「ネットワーク情報の確認」



9 [Ping] をクリックします。

通信しているときは、送信した信号が全て返信されるため、図 1 のように [0.0% packet loss] が表示されます。通信できていないときは、送信した信号が全て返信されないため、図 2 のように [100.0% packet loss] が表示されます。各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1

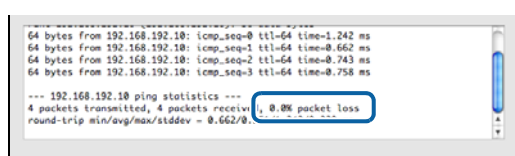
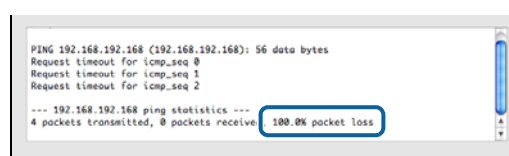


図 2



以上で終了です。

無線 LAN を無効にする

本機から無線電波を出さないようにしたい、または無線 LAN 接続から有線 LAN 接続を有効にしたいときは、無線 LAN を無効化します。

- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 ネットワーク概要表示画面で [メニュー] を押します。
- 3 [無線 LAN 設定] を選択します。
- 4 無線 LAN 設定画面で [無線 LAN を無効にする] を選択します。
- 5 メッセージを確認して [はい] を選択します。

以上で終了です。

ネットワーク設定を初期化する

本機のネットワーク設定を初期値に戻す（初期化）手順を説明します。

- 1 ホーム画面で  を押します。
- 2 セットアップ画面で [システム管理設定] を選択します。
- 3 [初期設定に戻す] - [ネットワーク設定] を選択します。
- 4 メッセージを確認し [はい] を選択します。

以上で終了です。

オープンソースソフトウェアのライセンス契約

オープンソースライセンス契約の詳細は、ソフトウェアディスクの [Manual] 内にある Readme ファイルをご覧ください。

Info-ZIP copyright and license

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.

The definitive version of this document should be available at

<ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and

a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.